

デジタルフォトプリンター

取扱説明書

UP-CR25L  MEMORY STICK™

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しております。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

SnapLab

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

7~9ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



手を挟まれ
ないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

目次

⚠ 警告.....	7
⚠ 注意.....	8

第1章 概要

こんなことができます	10
本機の活用シーンと操作モード	11
本機が提供するプリントサービス	12
最新の情報について	13
対応するメディアとファイルフォーマット	13

第2章 準備

付属品を確認する	15
各部の名称と働き	16
前面	16
背面	17
設置する	18
電源コードを接続する	18
ディスプレイの角度を調整する	19
起動と終了	19
プリント紙・インクリボンを取り付ける	20
プリント紙・インクリボンの取り扱いについて	20
プリント紙・インクリボンを取り付ける前に	20
リボンドアのロックを解除する	21
プリント紙・インクリボンを取り付ける	21
スクラップボックスを取り付ける	25
排紙トレイを取り付ける	25
排紙カバーを取り付ける	27
インクリボンの残量を確認する	27
プリント紙・インクリボンを交換する	28
リボンドアのロックを解除する	28
プリント紙・インクリボンを取りはずす	28
プリント紙・インクリボンを取り付ける	30
インクリボンが切れてしまったときは	30

第3章 基本設定

管理画面を表示する	32
操作モードについて	33
各モードの操作フロー	34

各操作モードに共通の設定	35
使用する言語を選択する	35
時刻を設定する	36
管理者用パスワードを設定する	36
操作モードを選択する	36
フル機能モードおよび簡易モードの設定	37
料金を設定する	37
パスワードを設定する	39

第4章 高度な設定

バンド価格を設定する	40
プリント枚数の上限を設定する	41
バジェットコードを使用する	42
カットモードを設定する	43
プリントにオーダー番号やファイル名を透かし状に入れる	44
拡張コンパクトフラッシュを使用する	45
拡張コンパクトフラッシュを必要とする機能	45
拡張コンパクトフラッシュのフォルダ構成	45
拡張コンパクトフラッシュを本機に取り付ける	45
拡張コンパクトフラッシュの空き容量を確認する	46
付属の CD-ROM からデータをコピーする	46
ユーザーが作成したデータをコピーする	46
拡張コンパクトフラッシュのデータをすべて削除する	47
プロモーション画像を設定する	47
フレームを追加する	48
画像とテキストを合成する	48
透かしを入れてプリントする (ウォーターマーク)	49
ウォーターマークのテンプレートを作成する	49
ウォーターマークのテンプレートを拡張コンパクトフラッシュに コピーする	50
透かしを入れてプリントする	50
画像先読みの設定をする	51
メモリーカードを使用してパスワードを入力する (リモートパスワード入力)	51
Bluetooth® 通信を使ったプリントの準備をする	52
Bluetooth 通信を行うための条件	52
システムの設定	52
ビープ音を設定する	52
別売りワイヤレス機器使用時のオプションを設定する	52

第5章 メンテナンス

クリーニング	54
プリンター内部のクリーニング	54
通気孔のフィルターが汚れたら	56
キャビネットが汚れたら	57
ディスプレイが汚れたら	57

プリンターの画質を設定する.....	57
プリンターの画質を調整する	57
グレーバランスを調整する	58
本機に増設したプリンターの画質を設定する	59
ログを出力する	59
プリント履歴を表示する	59
売り上げ履歴を表示する	60
システム履歴を表示する	60
タッチパネルを調整する	61
工場出荷時の設定に戻す	61

第 6 章 操作

操作を開始する	62
画像を選んでプリントする	64
フレームを合成してプリントする.....	65
分割写真をプリントする	66
インデックスプリントをする.....	67
すべての画像をプリントする.....	68
オーダーを確認してプリントする.....	68
プリントを中止する	69
画像を編集する	70
レイアウトを指定する（切抜き・回転）	70
テキストを入力する	71
画質を調整する	72
セピアやモノクロでプリントする	72
赤目を補正する	72
プリントの仕上げを選択する	73
Bluetooth 対応機器からプリントする	74
DPOF の設定を使ってプリントする	76
プリンターを増設してプリントする	76
本機に増設用のプリンターを接続する	76
本機に増設されているプリンターを確認する	77
増設プリンターでプリントする	77
増設プリンターの画質を調整する	77
パソコンからプリントする	78
パソコンにプリンタードライバーをインストールする	78
パソコン接続の設定をする	78
パソコンと接続する	78

付録

使用上のご注意	79
メモリーカードについて	80
“メモリースティック”について	80
“メモリースティック”以外のメモリーカードについて	81

USB メモリーについて	83
CD/DVD について	83
故障かなと思ったら	84
ご使用になれるインクリボンとプリント紙について	85
仕様	86
保証書とアフターサービス	88

⚠ 警告



火災 感電

下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。



指示

表示された電源電圧で使用する

日本国内では 100 V でお使いください。
製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に損害を
与えることがあります。



指示

2人以上で運搬する

本機は重量物ですので、1人で運搬すると腰を痛めたり、けがをすることがあります。運搬は本機側面の上側のくぼみを使用してください。下側のくぼみを使用すると、手がすべったり、バランスをくずしたりして落下し、けがの原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・壁から 10 cm 以上離して設置する。
- ・密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・電源コンセントが2極の場合
付属の3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取り付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



指示

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

充分注意して接続・配置してください。



禁止

製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

プリント紙排出口をのぞかない

プリント紙排出口からプリントされたプリント紙が排出されますので、のぞきこむと失明やけがの原因となることがあります。

プリント紙の排出口はのぞがないでください。



手を挟まれ
ないよう注意

前扉の開閉の際に手や指をは さまない

前扉を開閉するときに手や指をはさみ、けがの原因となることがあります。また、前扉を開いたままで使用しないでください。



手を挟まれ
ないよう注意

表示パネルを閉めるときに指 を挟まないように注意する

表示パネルを閉めるときは、表示パネルと本体の間に指を挟まれないように注意してください。



高温

プリント直後サーマルヘッド に触れない

プリント直後は、サーマルヘッドが熱くなっている場合があり、触るとやけどの原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわ らない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

電源コードのプラグ及びコネ クターは突き当たるまで差し 込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。



禁止

排紙トレイは、人通りの妨げ になる場所には設置しない

設置された排紙トレイが通路に飛び出していると、通行人がぶつかってけがをするおそれがあります。



禁止

プリンター内部に手を入れな い

リボン交換時に開口部から手を無理に奥に入れると、内部の突起や可動部によって、けがをするおそれがあります。



指示

プリント紙は縦置きする

横に置くと回転して落下し、けがの原因となることがあります。



禁止

DVD トレイやメモリーカー ドスロットをのぞかない

DVD トレイやメモリカードスロットをのぞき込むと、排出されたトレイやメモリカードで失明やけがの原因となることがあります。



禁止

表示パネルに無理な力をかけ ない

表示パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

その他安全上のご注意

注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被爆をもたらします。

本機は「クラス 1 レーザー製品」です。

概要

1 章

こんなことができます

本機は、デジタルカメラなどで撮影した画像データをメモリーカードや CD/DVD などから読み込んで手軽にプリントできます。

本機には次の特長があります。

多彩なプリントサービス

通常のプリントに加え、分割写真やフレームつきプリント、インデックスプリントができます。

また、トリミングや色の調整など、撮影した画像を編集してプリントできます。

オーダー番号やファイル名を透かし状にプリントでき、プリントの仕分けが容易になります。

選べる操作モード

本機を使用する用途に合わせて、フル機能モード、簡易モード、イベントモードの3つの操作モードが選べます。

各種のメモリーカードや CD/DVD に対応

デジタルカメラ用の主要な記憶メディアである、“メモリースティック”やxD-ピクチャーカード、SDカード、マルチメディアカード、コンパクトフラッシュ、マイクロドライブに対応しています。

また、USB メモリーやパソコンで作成した CD/DVD にも対応しています。

高速で高画質なプリント

新開発の昇華熱転写方式のプリントエンジンにより、保存性に優れた美しい画像がすばやくプリントできます。

タッチパネルで簡単操作

10.4 インチタッチパネル式ディスプレイを採用し、画面に触れるだけで簡単に操作できます。

オリジナルデータでカスタマイズ

プロモーション用の画像やフレームデータの入ったメモリーカード（拡張コンパクトフラッシュ）を拡張スロットにセットしておけば、待機時に広告を表示したり、フレームを合成したプリントができます。¹⁾ 広告やフレームデータにはオリジナルの画像が使えます。

1) 市販のコンパクトフラッシュやマイクロドライブが必要です。

ワイヤレス機器を使って簡単にプリント

別売りの Bluetooth USB アダプター¹⁾ を使用すると、携帯電話などの Bluetooth 対応機器からワイヤレスで画像を転送してプリントできます。Bluetooth 通信を使って画像を転送した場合も、メモリーカードから読み込んでプリントする場合と同様の多彩なプリントサービスが利用できます。別売りのワイヤレスアダプター²⁾ を使用すると、本機の操作なしに、ワイヤレス機能を搭載したデジタルカメラから画像を転送してプリントすることができます。

なお、この機能を使う場合は拡張コンパクトフラッシュが必要です。

1) ご使用になれる Bluetooth USB アダプターについては、「仕様」の「別売り品」(87 ページ)をご覧ください。なお、ご使用の国・地域によっては、販売しておりません。お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

2) サイレックスステクノロジー社製 SX-WSG1 が必要です。ご使用の国・地域によっては販売しておりません。お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。対応するデジタルカメラや本機の詳細情報については、UP-CR25L のサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

ロゴや文字などの透かしプリント

ロゴや文字などお好みのデザインを拡張コンパクトフラッシュに入れてセットしておくと、そのデザインを写真上に透かしのように入れてプリントすることができます（ウォーターマーク）。

プリンターの増設

本機のUSB端子に、別のプリンターを接続することができます。¹⁾これにより、増設プリンターに本機と異なるサイズの用紙をセットしてプリントサイズを増やしたり、本機と同じサイズの用紙をセットして本機の用紙がなくなったときに自動的に増設プリンターに切り替えてプリントすることができます。

1) 対応するプリンターや詳細情報については、UP-CR25Lのサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

パソコンからプリント

付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、パソコンから送ったデータを本機でプリントできます。¹⁾

1) パソコンと本機を接続する前に、付属のプリンタードライバーをインストールする必要があります。プリンタードライバーの最新情報についてはUP-CR25Lのサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

一体型のコンパクトなボディ

ディスプレイとプリンターが一体になったコンパクトなボディなので、店頭のカウンターなど、限られたスペースにも設置できます。

また、ディスプレイは操作スタイルに合わせて4段階に角度を調整できます。

本機の活用シーンと操作モード

本機は、次のようなシーンでの使用を想定しています。使用するシーンに合わせて操作モードを選択できます。

- **店頭でお客様が本機を操作してプリントする（セルフキオスク）**

お客様がデジタルカメラで撮影した写真のデータをお店に持ち込み、お客様自身の操作でプリントします。

このような用途には、**フル機能モード**または**簡易モード**が適しています。

お客様に豊富なオプションを提供することを重視する場合はフル機能モードを、簡単な操作で素早くプリントしていただくことを重視する場合は簡易モードをお勧めします。

料金の受け取りが必要なため、お客様がプリントする画像を選んだ後、プリントの前に店舗のスタッフによるオーダーの確認とパスワード入力をするように設定できます。

- **結婚式やパーティなどのイベント時にプリントする**

イベントで撮影した写真をその場でプリントします。お客様またはスタッフが本機を操作して、課金を気にせずにプリントできます。

このような用途には**イベントモード**が適しています。無料プリントのため、オーダーの確認やパスワードの入力は行いません。

◆ 詳しくは、「操作モードについて」（33ページ）をご覧ください。

本機が提供するプリントサービス

本機は、デジタルカメラなどで撮影した画像データを次に示すさまざまな形でプリントできます。

選んでプリント

メモリーカードの中から好きな画像を選び、枚数を指定してプリントします。

フレームつきプリント

画像にさまざまなフレームや文字を合成してプリントします。

オリジナルのフレームを追加することもできます。

分割写真

1枚のプリント紙に複数の画像を割り付けてプリントします。

証明写真などのように、定型サイズでの分割写真もできます。

インデックスプリント

メモリーカードの中に記録されているすべての画像を縮小して並べ、プリントします。

たくさんの画像を一覧できるので、撮った画像の管理や、焼き増しに便利です。

すべてプリント

メモリーカード内の全画像を一括プリントします。画像を選択する操作がいりません。

本機でプリントできるサイズ

使用するプリントパックによって、次のサイズでプリントできます。

サイズ	寸法: mm (インチ)	プリントパック
L	89 × 127 (3.5 × 5)	2UPC-R253 シリーズ、 2UPC-R255 シリーズ ¹⁾
KG (はがき)	102 × 152 (4 × 6)	2UPC-R254 シリーズ、 2UPC-R256/C560 シリーズ ^{1,2)}
2L	127 × 178 (5 × 7)	2UPC-R255 シリーズ、 2UPC-R256/C560 シリーズ ^{2,3)}
15 × 20 cm	152 × 203 (6 × 8)	2UPC-R256/C560 シリーズ ^{1,2)}

1) カットモードを使用した場合にプリントできます。詳しくは、「カットモードを設定する」(43 ページ)をご覧ください。

2) ご使用の国・地域によって、販売されるプリントパックは異なります。詳しくは、お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

3) カットモードを使用した場合にプリントできます。周囲に余白が付いてプリントされます。詳しくは、「カットモードを設定する」(43 ページ)をご覧ください。

メモ

付属のプリンタードライバーを使用してパソコンからプリントできるサイズについては、プリンタードライバーの取扱説明書をご覧ください。

最新の情報について

最新の情報については、UP-CR25L のサポートページ
(<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

対応するメディアとファイルフォーマット

対応メモリーカード

本機は、次のメモリーカードに対応しています。

- “メモリースティック”
- “メモリースティック PRO”
- “メモリースティック デュオ”
- コンパクトフラッシュ
- SD カード¹⁾
- miniSD カード
- マルチメディアカード
- xD-ピクチャーカード
- USB メモリー

1) SDXC には対応していません。

“メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック デュオ”について詳しくは、「“メモリースティック”について」(80 ページ) をご覧ください。

それ以外のメモリーカードについて詳しくは、「“メモリースティック”以外のメモリーカードについて」(81 ページ) をご覧ください。

USB メモリーについて詳しくは、「USB メモリーについて」(83 ページ) をご覧ください。

対応ディスク

- CD-R/RW
- DVD-R/RW

ご注意

- CD、DVD への書き込みには対応していません。
- DVD+R(DL)/RW、DVD-RAM には対応していません。

◆ 詳しくは、「CD/DVD について」(83 ページ) をご覧ください。

対応ファイルフォーマット

本機は、次のファイルフォーマットに対応しています。本機で読み込めるデータのサイズは、最大 8,000 × 6,000 ピクセルです。

- JPEG
JFIF 4:4:4、4:2:2、4:2:0 (ベースライン JPEG)
※プログレッシブ JPEG およびグレースケール (8bit)
JPEG には対応していません。
Exif 2.2.1 準拠
DCF 2.0 準拠

- TIFF
Exif 2.2.1 準拠 (RGB 非圧縮)
- BMP
24 ビット Windows 形式
(フォーマットのバージョンによっては、非対応のものもあります。また、パソコンで加工した画像は、再生できないことがあります)
- メモリーカードおよびディスク内のディレクトリーは 8 階層まで対応しています。1 回の操作で扱えるファイル数は、9,999 個までです。ファイルのパスが 200 文字を超える場合、および半角英数字以外の文字を含む場合は、ファイルを読み込めない場合があります。
- TIFF や BMP など、ファイルサイズが大きい画像は、読み込みに時間がかかる可能性があります。
- ファイルの日時が 1980 年 1 月 1 日以前、および 2079 年 12 月 31 日以降のファイルには対応していません。

DCFについて

DCF は、「Design rule for Camera File System」の略称で、主としてデジタルスチルカメラなどの画像ファイルを関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に、社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) によって標準化された規格です。ただし、「DCF 規格」は、機器間の完全な互換を保証するものではありません。

商標について

本文中の以下の用語は、各社の商標です。

- “Memory Stick” 及び  は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- CompactFlash™ は、アメリカ合衆国およびその他の国における SanDisk Corporation の商標です。
- MultiMediaCard™、マルチメディアカードは、独国 Infineon Technologies AG 社の商標です。
- Microdrive® は Hitachi Global Storage Technologies の登録商標です。
- miniSD、SDXC は SD-3C, LLC の商標です。
- Adobe、Photoshop は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- xD- ピクチャーカードは、富士写真フィルム株式会社の商標です。
- Bluetooth® は、その権利者が所有している商標であり、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- True Type フォントのラスタライズ処理は、FreeType Team のソフトウェアをベースにしています。
- 本ソフトウェアの一部は、Independent JPEG Goup の研究成果を使用しています。
- Libtiff
Copyright © 1988-1991 Sam Leffler
Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee.

- Zlib

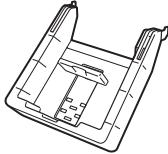
© 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler

準備

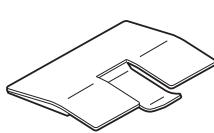
付属品を確認する

付属品を確認してください。

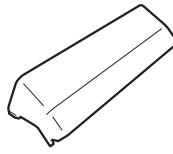
排紙トレイ (1)



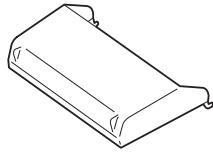
排紙トレイアダプター (1)



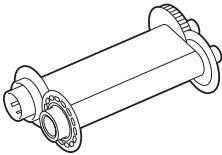
排紙カバー (1)



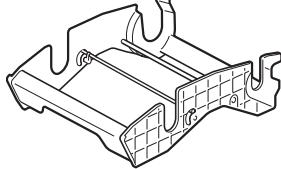
スクラップボックス (1)



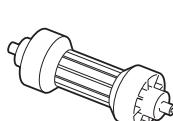
クリーニングリボン (1)



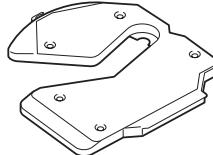
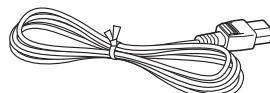
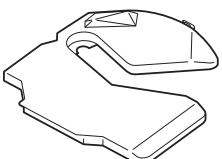
リボントレイ* (1)



ペーパーコア* (1)



ペーパーアダプター (青)* (1)

ペーパーアダプター (ピンク)* 電源コード (1)
(1)USB ケーブル (1)
3 極→2 極変換プラグ (1)
CD-ROM (1)
ソフトウェアライセンス契約書 (1)
ご使用になる前に (1)
保証書 (1)

* プリンター本体の中に入っています。使用する前に本体から取り出してください。
取り出しかたについては、「プリント紙・インクリボンを取り付ける」(20 ページ) をご覧ください。

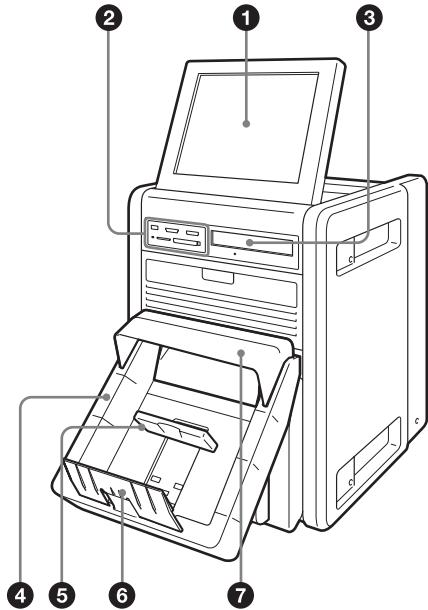
ご注意

- 梱包材から本体を取り出す際は、腰を痛めないようにご注意ください。
- 梱包箱や緩衝材は、本機の移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- 輸送の際は、本機からインクリボンとプリント紙を取りはずしてください。

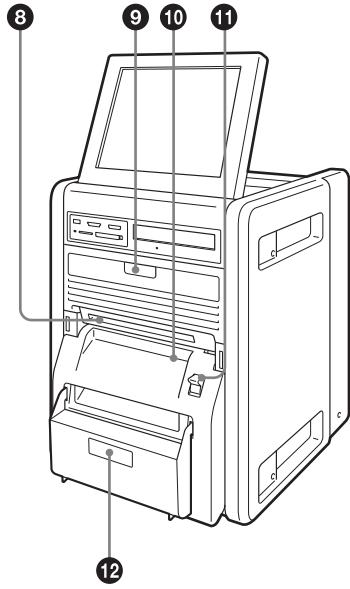
- 輸送の際は、スクラップボックスにたまっている紙片を取り除いてください。紙片が本機の内部に入り込み故障の原因となる場合があります。

各部の名称と働き

前面



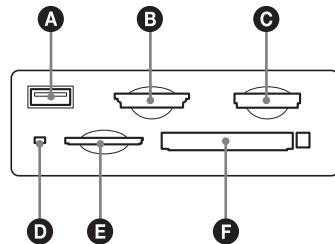
排紙トレイを外した状態



① ディスプレイ

操作画面が表示されます。タッチパネル方式なので、直接ディスプレイにタッチして操作できます。また、必要に応じてディスプレイの角度を調節できます。

② メモリーカードスロット部



A USB 端子 (USB メモリー用) (63 ページ)

画像データが記録されている USB メモリーを挿入します。

B SD カード／マルチメディアカード用スロット (63 ページ)

画像データが記録されている SD カード、miniSD カードまたはマルチメディアカードを挿入します。

C “メモリースティック” 用スロット (63 ページ)

画像データが記録されている “メモリースティック” を挿入します。

D アクセスランプ

スロットにメモリーカードが挿入されると点灯し、アクセス中に点滅します。

E xD-ピクチャーカード用スロット (63 ページ)

画像データが記録されている xD-ピクチャーカードを挿入します。

F コンパクトフラッシュ用スロット (63 ページ)

画像データが記録されている コンパクトフラッシュを挿入します。

ご注意

コンパクトフラッシュ型アダプターに “メモリースティック” や SD カード、マルチメディアカードなどを装着して、コンパクトフラッシュ用スロットに挿入しないでください。各カードに記録されている画像データが消えたり、本機が動作しなくなる可能性があります。

③ CD/DVD-ROM ドライブ

画像データが記録されている CD または DVD を挿入します。CD および DVD への書き込みはできません。

④ 排紙トレイ (25 ページ)

排出されたプリント画がたまります。

⑤ 排紙ストッパー (26 ページ)

プリント画のサイズによって位置を調節します。位置は3段階に調節できます。

⑥ 排紙トレイアダプター (26 ページ)

排紙トレイに取り付け、プリント画が排紙トレイからはみ出すのを防ぎます。

⑦ 排紙力バー

排紙トレイに取り付け、プリント中のプリント紙が排紙口から前方に飛び出すのを防ぎます。

⑧ 排紙口

プリント画が排出されます。

⑨ リボンドア (24 ページ)

インクリボンを交換するときに開閉します。

電源投入中は開きません。開くには、「プリント紙・インクリボンを取り付ける」(20 ページ) をご覧ください。

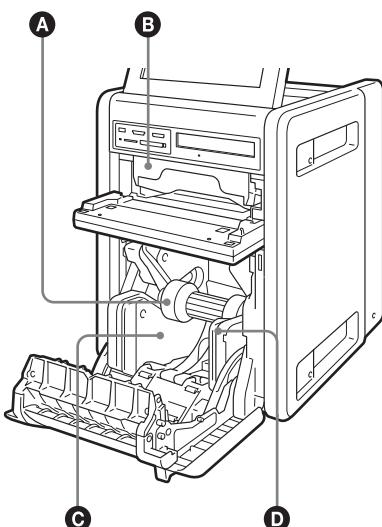
⑩ ペーパードア (22 ページ)

プリント紙を交換するときに開閉します。

プリンター動作中は開きません。

⑪ ペーパードアアレバー

ペーパードアを開けるときに使用します。

ペーパードア、リボンドアを開けた場合**Ⓐ ペーパーコア**

プリント紙に差し込みます。

Ⓑ リボントレイ

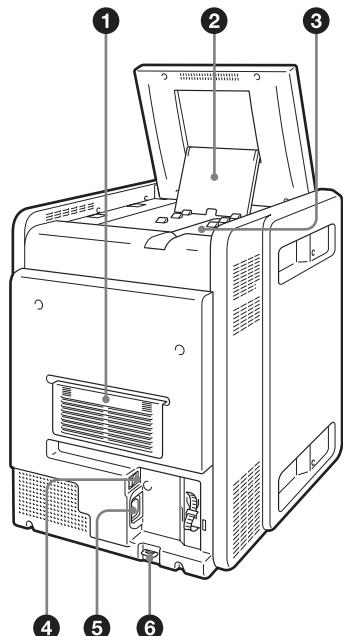
インクリボンを入れます。

Ⓒ ペーパーアダプター (青)**Ⓓ ペーパーアダプター (ピンク)**

プリントパック 2UPC-R253/R255 シリーズを使用する場合に、プリンターに取り付けます。

⑫ スクラップボックス (25 ページ)

プリント画とプリント画の間にできる余白が、プリント時に切り取られてこのボックスの中にたまります。

背面**① フィルターカバー**

通気孔のフィルターが内蔵されています。

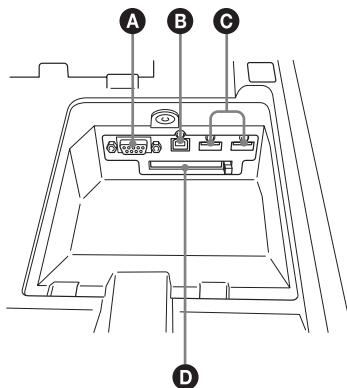
② ディスプレイスタンド

ディスプレイの角度を調節します。

③ 拡張端子部ふた

拡張機能使用時に必要となる各種端子が内蔵されています。

拡張端子部ふたを開けた場合



Ⓐ RS-232C 端子

市販のサーマルレシートプリンターなどを接続します。

Ⓑ USB 端子（デバイス）（52 ページ）

付属の USB ケーブルを介して、SX-WSG1 やパソコンなどを接続します。¹⁾

1) USB ハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。

Ⓒ USB 端子（ホスト）× 2

USB デバイスを接続します。

市販のカードリーダーや USB メモリーを接続して、データを読み込むことができます。¹⁾

増設プリンターを接続することもできます。

Bluetooth 通信を使用するときは、Bluetooth USB アダプターを挿入します。

1) すべてのカードリーダーおよび USB メモリーとの接続を保証するものではありません。

USB ハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。

PictBridge には対応していません。

Ⓓ 拡張コンパクトフラッシュ用スロット

フレームつきプリントやプロモーション画像などを使用する場合に必要な拡張コンパクトフラッシュを挿入します。

④ POWER スイッチ

本機の電源を ON/OFF（入／切）します。

⑤ ~AC IN（電源）端子（18 ページ）

付属の電源コードを接続します。

⑥ セキュリティスロット

持ち去り防止のためにワイヤーロックなどを取り付けることができます。

設置する

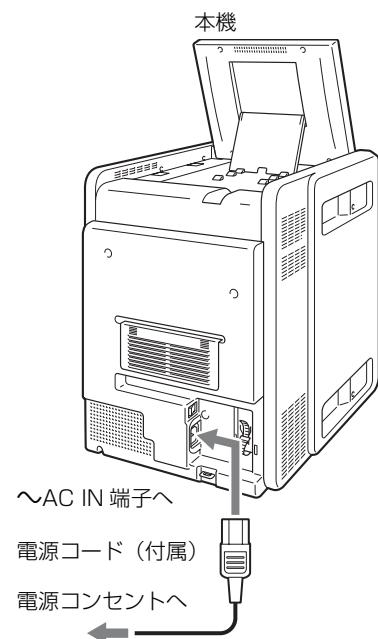
電源コードを接続する

付属の電源コードの電源プラグを本機の～ AC IN 端子に接続し、もう一方をコンセントに差し込みます。

コンセントが 2 芯の場合は、コンセント側の電源プラグに付属の 3 極→2 極変換プラグを装着してください。このとき、変換プラグに付いている緑色のアース線を必ず建物のアース端子に接続してください。

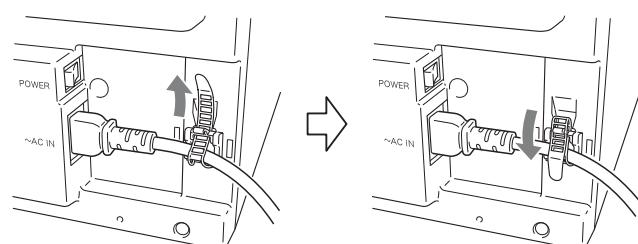
3 極→2 極変換プラグをご使用になる場合のご注意

アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントへ差し込む前に行ってください。アースを取りはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



電源コードを固定するには

ケーブルクランプを電源コードに巻き付けてから、図のように締めて固定します。



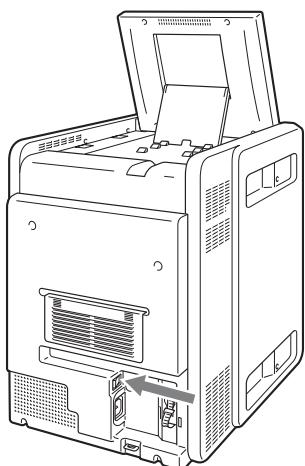
ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイを見やすい角度に調整します。角度は4段階に調整できます。

起動と終了

起動

- 1 本機前面のスロットにメモリーカードが挿入されていないことを確認し、POWERスイッチをONにする。

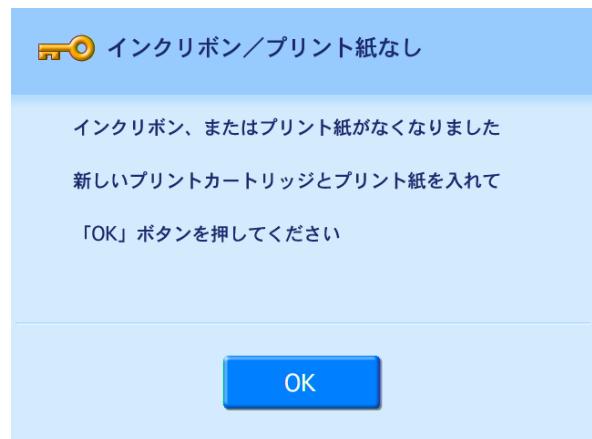


本機が起動し、次のスタートガイドが表示されます。



この後の操作方法については、「操作」(62ページ)をご覧ください。

プリント紙・インクリボンが無い場合は、次の画面が表示されます。



終了

- 1 操作中の場合は操作を終了させ、スタートガイド画面を表示させる。



- 2 本機前面のスロットにメモリーカードが挿入されていないことを確認し、POWERスイッチをOFFにする。

ご注意

本機の電源を切った後再び電源を入れる場合は、5秒以上経過してから電源を入れてください。

プリント紙・インクリボンを取り付ける

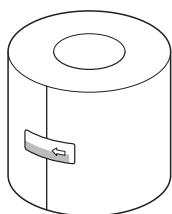
プリント紙・インクリボンの取り扱いについて

ご注意

- プリントパックにはインクリボンが2巻、プリント紙が2巻入っています。インクリボンとプリント紙は同じ箱に入っているものを必ずセットでお使いください。（「ご使用になれるインクリボンとプリント紙について」（85ページ））
- インクリボンとプリント紙は余分に卷いてあります。インクリボンとプリント紙が余っていても、必ず新しいインクリボンとプリント紙をセットで取り付けてください。余ったプリント紙を使うと故障の原因となります。
- 印画可能枚数は、プリントパックにより異なります。インクリボン1巻とプリント紙1巻のセットで印画可能な枚数は以下のとおりです。

プリント パック	2UPC- R253 シリーズ	2UPC- R254 シリーズ	2UPC- R255 シリーズ	2UPC- R256/ C560 シリーズ
印画枚数	770枚	700枚	400枚	350枚
印画サイズ	89×127	102×152	127×178	152×203
単位: mm				

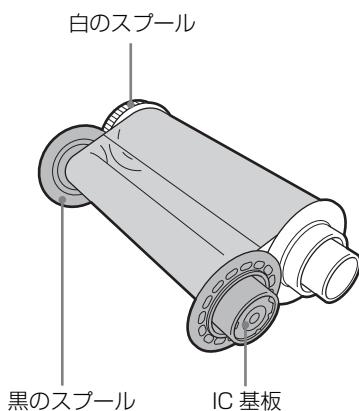
- インクリボンやプリント紙を使用途中で交換しないでください。インクリボンやプリント紙を途中で交換した場合、上記の印画可能枚数は、保証の限りではありません。
- 本機では、2UPC-R203/R204/R205/R206/C26シリーズのプリントパックは使用できません。
- プリント紙を置くときは、下図のように縦置きにしてください。横に置くと回転して落下し、けがの原因となることがあります。



- プリント紙は重いので両手でしっかりとお持ちください。落としたりするだけの原因となることがあります。



- インクリボンは、取り付けるまで、白と黒のスプールのかみ合わせをはずさないでください。
- 黒のスプールにはIC基板が組み込まれています。IC基板の端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えると、曲げたり、落としたりしないでください。そのインクリボンが使用できなくなる場合があります。



プリント紙・インクリボンを取り付ける前に

本機の電源が入っているか確認してください。
入っていない場合は、電源を入れてください。
電源が入っていないと、プリント紙・インクリボンの取り付け終了後、自動給紙が正しく行われない場合があります。
新しいプリント紙を取り付ける際に定期的にサーマルヘッドなどのクリーニングを行ってください。
クリーニングについて詳しくは、「プリンター内部のクリーニング」（54ページ）をご覧ください。

ご注意

紙幅 127 mm (5 インチ) のプリントパック 2UPC-R253 シリーズおよび 2UPC-R255 シリーズをお使いになった後に、紙幅 152 mm (6 インチ) のプリントパック 2UPC-R254 シリーズ、2UPC-R256 シリーズおよび 2UPC-C560 シリーズをお使いになると、プリント画の両端にスジが入る場合があります。

印刷する前に、プリンター内部のクリーニング (54 ページ) を行ってください。

リボンドアのロックを解除する

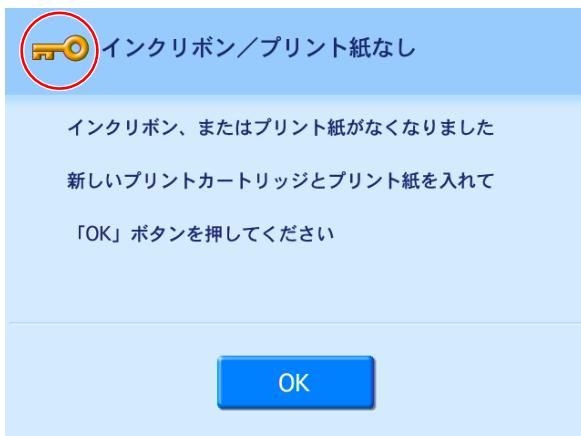
リボンドアは、安全のため電源が入っている間はロックされています。ロックを解除するには、次の手順で管理者画面を表示します。

1 電源を入れて、本機を起動する。

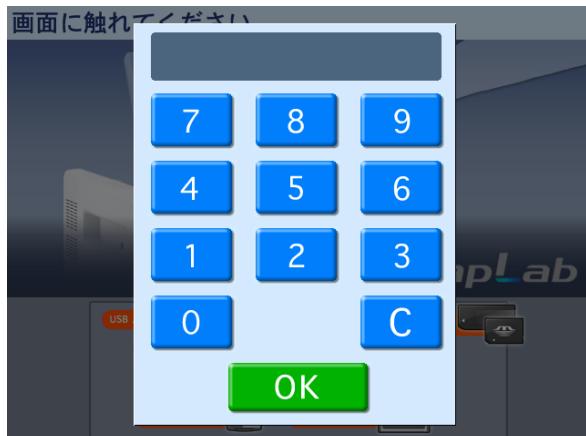
下記のスタートガイド画面が表示されます。



プリント紙・インクリボンがセットされていない場合は、次のエラーメッセージ画面が表示されます。

**2 画面左上隅に 2 回続けてタッチする。**

パスワード入力画面が表示されます。

**3 画面上のテンキーを使って管理者用のパスワードを入力して、「OK」にタッチする。**

(パスワードの出荷時の初期設定は「9999」です。)

管理者画面が表示されます。

管理者画面が表示されると、リボンドアのロックが解除されます。

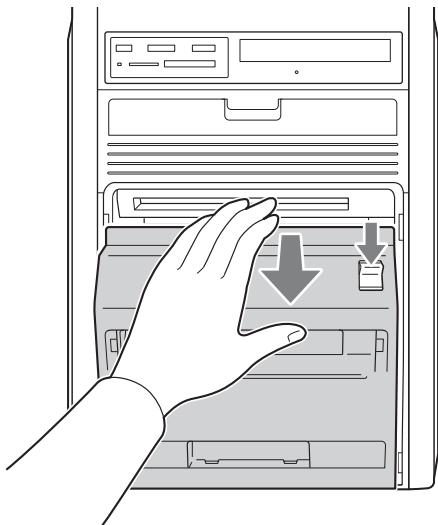
**プリント紙・インクリボンを取り付ける**

初めて本機をお使いになる場合は、まずプリント紙およびインクリボンを取り付けてください。

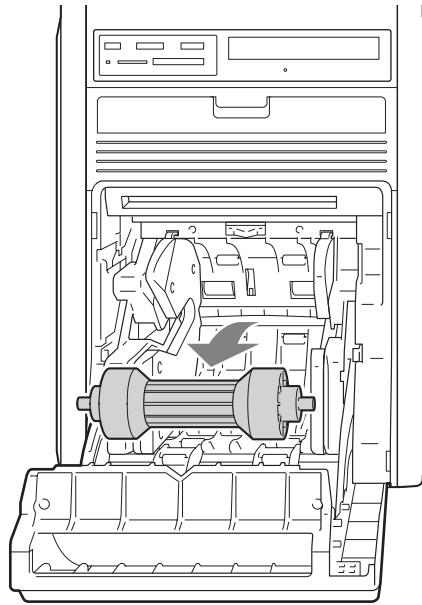
プリント紙の取り付け**ご注意**

- プリント紙の取り付けは、排紙トレイと排紙カバー、スクラップボックスを取りはずしてから行ってください。
- ペーパードアやドア開口部の突起に、手や洋服がはさまれたり、引っ掛けたりしないようにしてください。

- 1 ペーパードアレバーを押し下げた後、ペーパードアをロックするまでドア中央部を手前に引いて開ける。

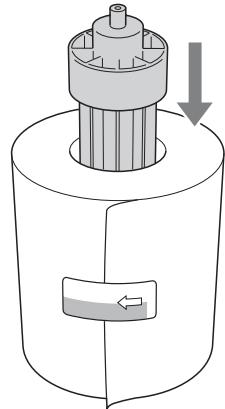


- 2 ペーパーコアを取り出す。



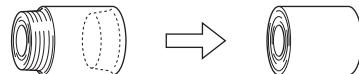
- 3 プリント紙にペーパーコアを差し込む。

ペーパーコアは左右の形が同じです。どちら側から差し込んでも使用できます。

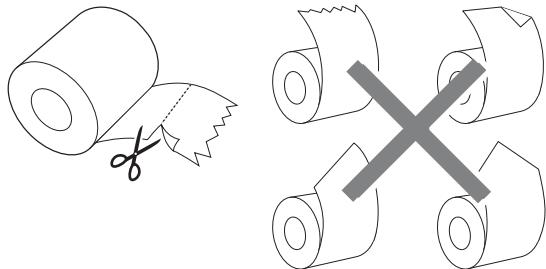


ご注意

- 用紙の端が揃っていない場合は、折り曲げないよう注意して端を平らに揃えてから取り付けてください。そのまま取り付けると、故障の原因となる場合があります。



- 紙づまりなどで紙の先端が折れたり破れた場合は、必ずはさみで図のように切り取ってからプリント紙を取り付けてください。

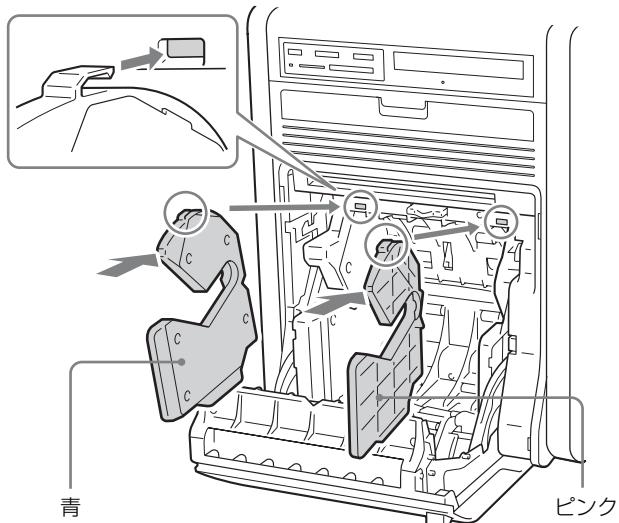


- 用紙を硬いものにぶつけたり、強くつかまいでください。用紙が折れたり曲がったりして、プリントの品質に影響が出ることがあります。

- 4 使用するプリント紙の紙幅に合わせて、ペーパーアダプターを着脱する。

紙幅 127 mm (5 インチ) のプリントパック 2UPC-R253/2UPC-R255 シリーズの場合

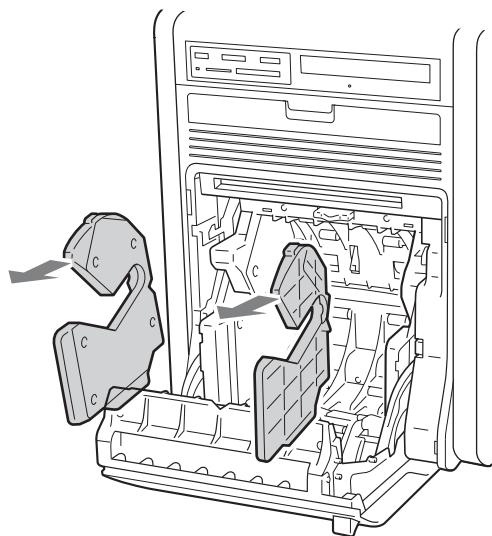
左側にペーパーアダプター（青）を、右側にペーパーアダプター（ピンク）を取り付けて使用します。（工場出荷時はペーパーアダプターが取り付けられています。）



上部のつめがロックするまで矢印部分を押して取り付けます。

紙幅 152 mm (6 インチ) のプリントパック 2UPC-R254/R256/C560 シリーズの場合

ペーパーアダプター（青）とペーパーアダプター（ピンク）を取りはずします。

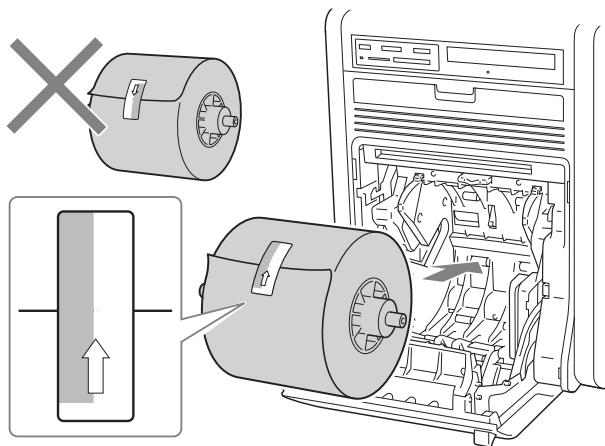


ご注意

取りはずしたペーパーアダプターはなくさないように保管してください。

5 プリント紙を取り付ける。

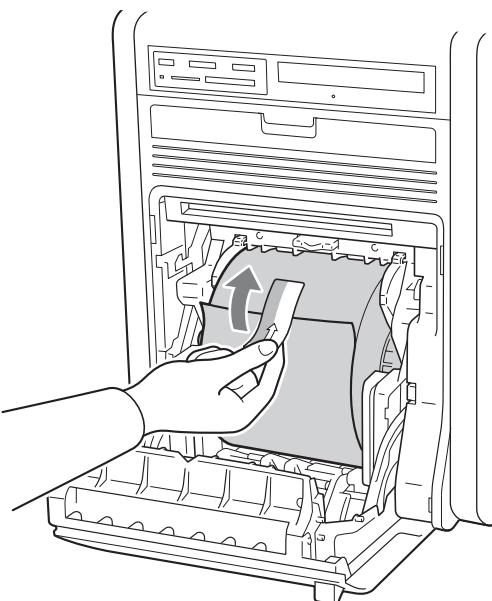
プリント紙の中央にあるシールの矢印が、奥を向くように入れます。



ご注意

- ペーパーコアは、プリント紙から外れないように、両端を押さえながら、取り付けてください。
- プリント紙を取り付けた後は、プリント面（プリント紙の内側の面）に触れないでください。指紋や汗、折り目が付くと、プリントの品質に影響が出ることがあります。
- プリント紙は奥まで挿入してください。

6 プリント紙に付いているシールをゆっくりはがす。



ご注意

シールは完全にはがしてください。また、シールはゆっくりはがないとプリント紙に糊が残る場合があります。シールがプリンター内に残ると、故障の原因となることがあります。

- 7 ペーパードアの中央部をカチッと音がするまで押して閉める。



ご注意

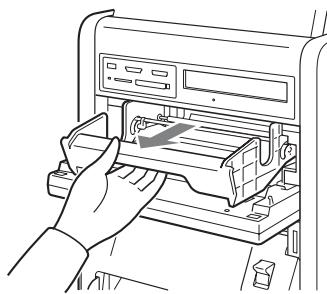
- ドアの端を押して閉めると、ドアが正しくロックできない場合があります。
- ペーパードアを閉じる際に、プリント紙の先端がドアにはさまれないように注意してください。

インクリボンの取り付け

- 1 リボンドアを手前に引いて開ける。



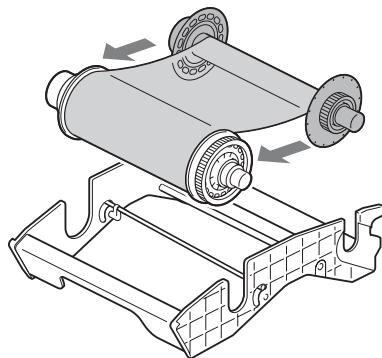
- 2 リボントレイを取り出す。



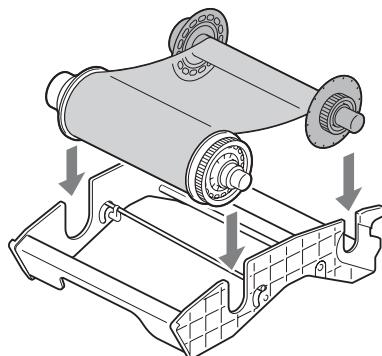
ご注意

リボントレイを取り出した後に、開口部へ手を入れないでください。内部の突起や可動部に触ると、けがや故障の原因となるおそれがあります。また、プリント直後はサーマルヘッドが高温になっており、触るとやけどの原因となることがあります。

- 3 インクリボンの白のスプールを黒のスプールから引き抜く。



- 4 リボンがゆるまないように巻きほどき、リボントレイに取り付ける。



図のように白のスプールを手前側に、黒のスプールを奥側に取り付けてください。

ご注意

インクリボンにゆるみがある場合は、スプールに巻き取ってください。また、インクリボンが折れ曲がっている場合は広げてください。

5 リボントレイの中央を持って、本機に挿入する。**ご注意**

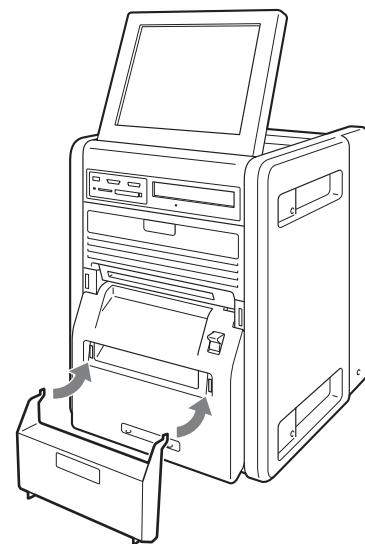
- 必ずリボントレイの中央を持ってください。中央以外の部分を持つと、取り付けるときに指をはさみ、けがの原因となります。
- リボントレイは奥まで挿入してください。

6 リボンドアを閉める。**プリントパック保存上のご注意**

- 次のような場所での保存は避けてください。
 - 温度の高いところ
 - 湿度やほこりの多いところ
 - 直射日光の当たるところ
- 開封後はなるべく早くご使用ください。
- 輸送時など、使用途中で保存しなければならない場合は、製品が入っていた袋に入ることをお勧めします。

スクラップボックスを取り付ける

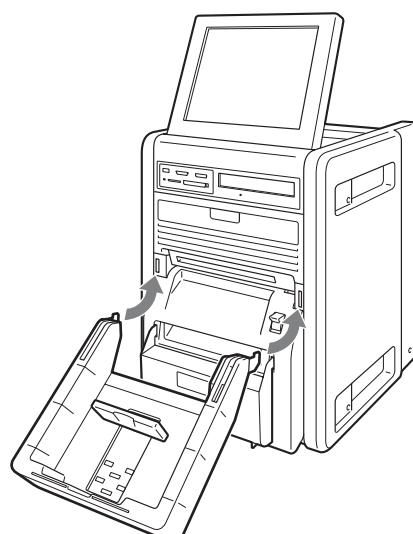
プリント画とプリント画の間には余白ができます。プリントするとこの余白が切り取られ、このボックスの中にたまります。たまたま紙片は早めに取り除いてください。

**ご注意**

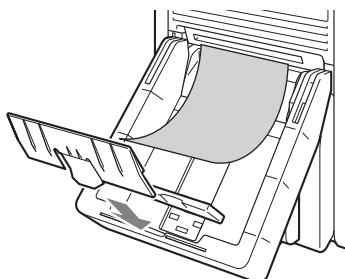
切り取られた紙片がスクラップボックスの中に多くたまっていると、紙片が排出されずに本体内に詰まり、故障の原因となる場合があります。スクラップボックスにたまたま紙片は早めに取り除いてください。また、プリント紙を交換するときには必ず空にしてください。

排紙トレイを取り付ける

プリントすると、プリント画が排出され、排紙トレイにたまります。

1 排紙トレイを取り付ける。

排紙トレイアダプターを取り付ける



排紙トレイからプリント画がはみ出すのを防ぎます。
プリント画の反りが、図のようになっている場合にお使い
ください。

ご注意

排紙トレイにはプリント画を約40枚ためられます。プリント画の反りによっては、ためられる枚数が大きく異なります。出力されたプリント画は早めに取り出してください。

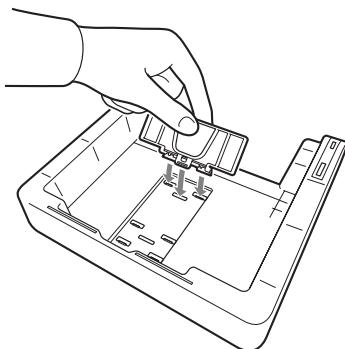
排紙ストッパーの位置を調整する

プリント画のサイズや反りの大きさによって、排紙ストッパーの位置を調節します。位置は3段階に調節できます。

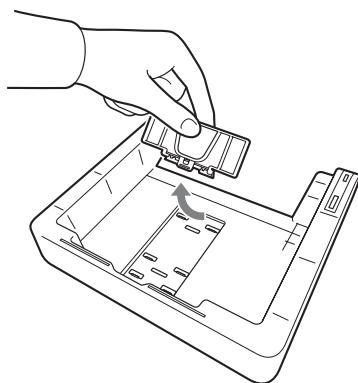
ご注意

排紙ストッパーの位置が正しく調節されていないと紙づまりの原因となることがあります。

排紙ストッパーを取り付けるには

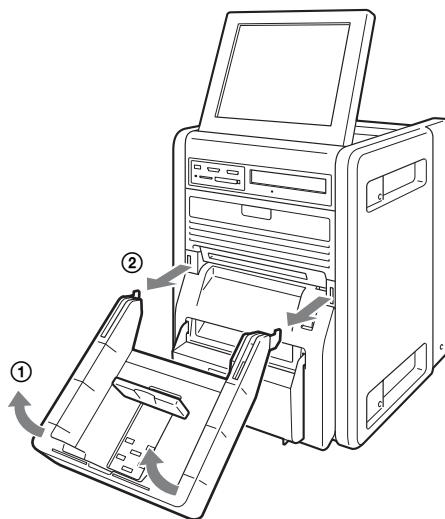


排紙ストッパーを取りはずすには



排紙トレイを取りはずすには

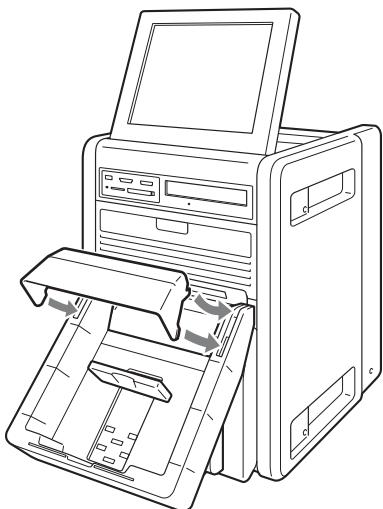
排紙トレイの両端を持って、①上に持ち上げながら、②手前に引き出します。



排紙カバーを取り付ける

排紙カバーを排紙トレイに取り付けます。プリント中に排紙口から前に飛び出したプリント紙が手や体に触れたり、排紙口をのぞきこんで顔に当たることを防ぎます。

排紙カバーを取り付けるには



インクリボンの残量を確認する

インクリボンの残量は、スタートガイド画面から確認できます。

1 スタートガイド画面を表示する。



2 スタートガイド画面の右上隅に2回続けてタッチする。

残量確認画面が表示されます。



プリントサイズ

セットされているプリント紙のサイズが表示されます。

リボン残量

インクリボンの残りプリント枚数が表示されます。残りプリント枚数が0になった場合は、インクリボンとプリント紙を交換してください。

詳しくは、「プリント紙・インクリボンを取り付ける」(20ページ)をご覧ください。

ボタン

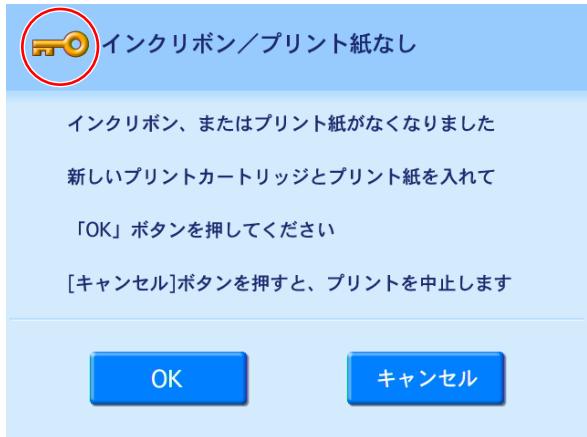
前回のヘッドクリーニング以降のプリント枚数を表示します。枚数の右側にクリーニングが必要というメッセージが表示されていたら、ボタンにタッチしてクリーニングを行ってください。

追加プリンターの情報

本機に別のプリンターを接続している場合は、そのプリンターにセットされているプリント紙のサイズと、インクリボンの残量が表示されます。

プリント紙・インクリボンを交換する

プリント中にプリント紙・インクリボンが無くなった場合、次のエラーメッセージ画面が表示されます。以下の手順でプリント紙・インクリボンを交換してください。



リボンドアのロックを解除する

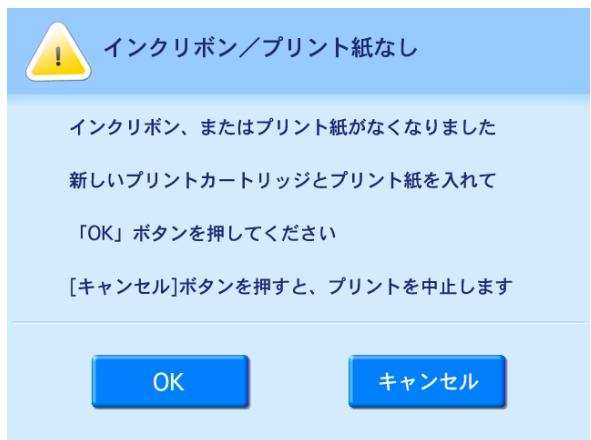
1 エラーメッセージ画面の左上隅に2回続けてタッチする。

パスワード入力画面が表示されます。



2 画面上のテンキーを使って、管理者用のパスワードを入力して、[OK]にタッチする。
(パスワードの出荷時の初期設定は9999です。)

リボンドアのロックが外れ、エラーメッセージ画面に戻ります。左上隅の鍵マークが「！」に変わっています。

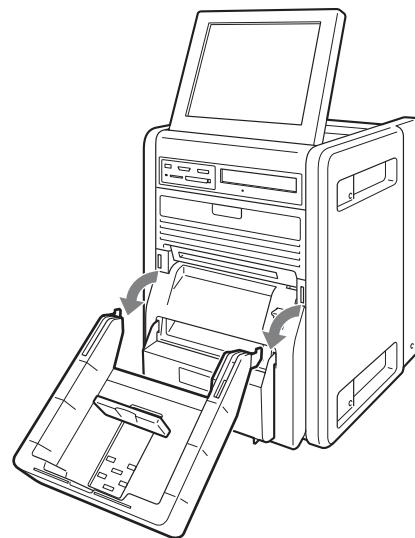


プリント紙・インクリボンを取りはずす

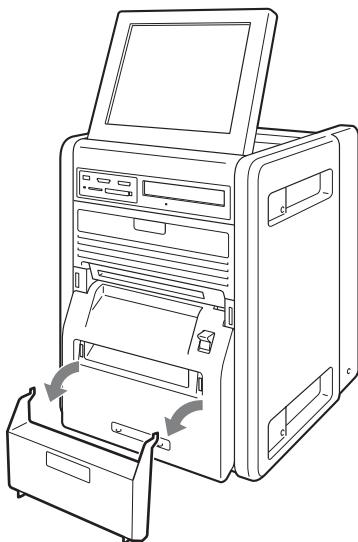
ご注意

インクリボンとプリント紙は余分に巻いてあります。インクリボンとプリント紙が余っていても、必ず新しいインクリボンとプリント紙をセットで取り付けてください。余ったプリント紙を使うと故障の原因となります。

1 排紙カバーと排紙トレイを取りはずす。



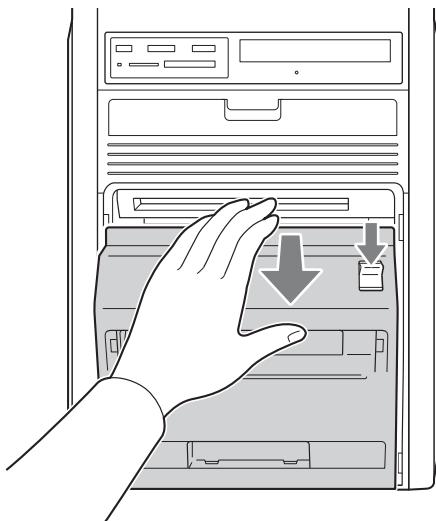
- 2 スクラップボックスを取りはずし、たまっている紙片を捨てる。



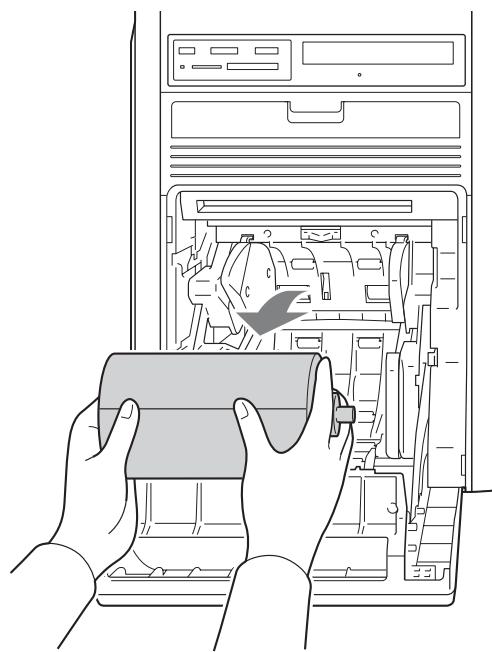
ご注意

切り取られた紙片がスクラップボックスの中に多くたまっていると、紙片が排出されずに本体内に詰まり、故障の原因となる場合があります。プリント紙を交換するたびに、スクラップボックスを必ず空にしてください。

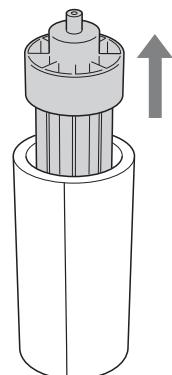
- 3 ペーパードアレバーを押し下げた後、ペーパードアをロックするまでドア中央部を手前に引いて開ける。



- 4 プリント紙を取りはずす。



- 5 取りはずしたプリント紙からペーパーコアを抜き取る。



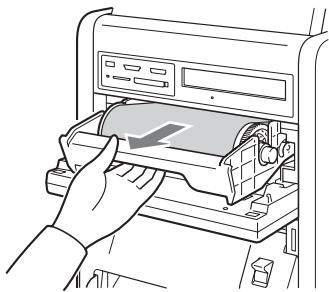
ご注意

抜き取ったペーパーコアは繰り返し使用します。捨てないでください。

- 6 リボンドアを手前に引いて開ける。

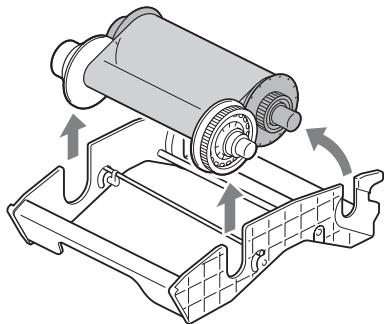


7 リボントレイを取り出す。



8 インクリボンを取りはずす。

取りはずした後、インクリボンの黒のスプールを白のスプールにはめ込みます。



所定枚数の印画を終えて取りはずしたインクリボンは、再度使用しないでください。

ご注意

リボントレイは繰り返し使用します。捨てないでください。

プリント紙・インクリボンを取り付ける

プリント紙・インクリボンの取り付けについて詳しくは、「プリント紙・インクリボンを取り付ける」(21 ページ) をご覧ください。

プリント紙・インクリボンの取り付けが終わったら、エラーメッセージ画面の [OK] にタッチしてください。エラーメッセージ画面が閉じられ、続けて操作ができるようになります。

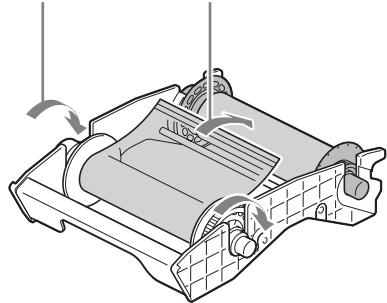
インクリボンが切ってしまったときは

テープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。

1 リボンドアを開け、リボントレイを取り出す。

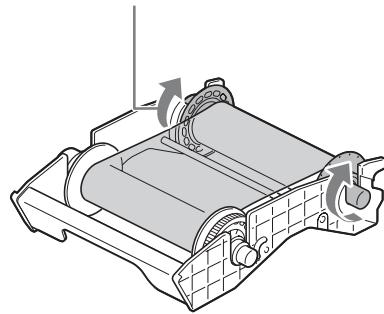
2 白のスプールのリボンを引き出し、リボン先端の幅一杯にテープを貼り、黒のスプールのリボンに貼り付ける。

- ② 白のスプールのリボンの先端に幅一杯にテープを貼り、黒のスプールのリボンに貼り付ける。
① リボンを引き出す。



3 インクリボンのゆるみをとる。

リボンのゆるみは、黒のスプールに巻きとってください。



ご注意

テープで貼り付けた部分は、黒のスプールの方に完全に巻き取ってください。

4 リボントレイの中央を持って、本機に挿入する。



ご注意

必ずリボントレイの中央を持ってください。中央以外の部分を持つと、取り付けるときに指をはさみ、けがの原因となります。

5 リボンドアを閉める。



リボンが切れた場所によっては、プリント画1枚分の
リボンが失われる場合があります。

基本設定

本機を導入するにあたって、使用する言語や操作モード、料金やパスワードなどを、管理画面で設定します。また、導入後の設定変更やメンテナンスも管理画面から行います。

管理画面を表示する

管理画面は次の手順で表示します。

ご注意

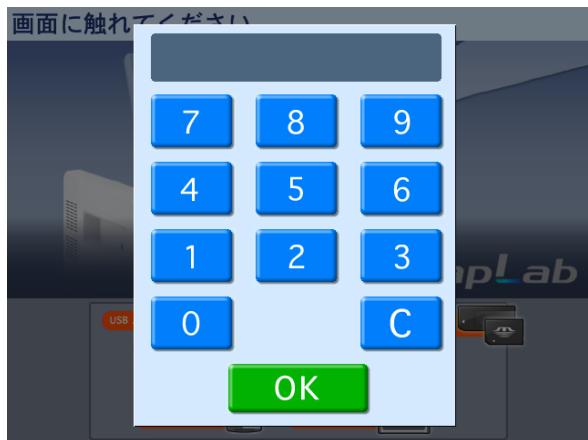
- 管理画面で本機の設定を行うには、管理者パスワードの入力が必要です。出荷時には、「9999」が管理者パスワードとして設定されています。
- 本機前面のスロットにメモリーカードが挿入されていると、管理画面を表示できません。メモリーカードを抜いてから、再度操作してください。

- 1 スタートガイド画面で、画面の左上隅に2回続けてタッチする。



パスワード入力画面が表示されます。

- 2 画面上のテンキーを使って、管理者パスワードを入力する。



- 3 [OK] ボタンにタッチする。

管理画面が表示されます。



この画面で各タブにタッチして画面を選択し、設定を行います。各タブで設定できる内容について詳しくは、本章および「高度な設定」(40 ページ)をご覧ください。

画面表示 タブ

画面に表示する言語の選択やスクリーンセーバーの設定を行います。

(システム) タブ

操作モードの選択や時計の設定、パソコンとの接続の設定などを行います。
また、サーマルヘッドのクリーニングやタッチパネルの調整も、このタブから行います。

(料金) タブ

使用する通貨や料金について設定します。

(管理) タブ

プリントの上限枚数やパスワードを設定します。
また、プリント履歴やシステム履歴を表示します。

(テンプレート) タブ

フレームつきプリントのテンプレートなどのデータを拡張コンパクトフラッシュへコピーします。
また、画像と合成するテキストを入力します。

(プリンターの設定) タブ

オーダー番号やファイル名のプリント、およびカットモードについて設定します。
また、プリンターの画質調整を行います。

4 設定が終了したら、 ボタンにタッチします。

ご注意

本機の内蔵時計に設定されている日付が2008年以前の場合は、管理画面を終了するときに時計設定画面が表示されますので、正しい日付を設定してください。日付を設定せずにキャンセルするとスタートガイド画面に戻ります。日付の設定方法について詳しくは、「時刻を設定する」(36ページ)をご覧ください。

操作モードについて

本機には、3つの操作モードがあります。

フル機能モード

店頭でお客様が直接操作するセルフキオスクを想定したモードです。本機の機能がすべて使用できるので、お客様に豊富なプリントオプションを提供できます。
お客様の操作項目が多くなるので1回のオーダーに時間が掛かることがあります。

簡易モード

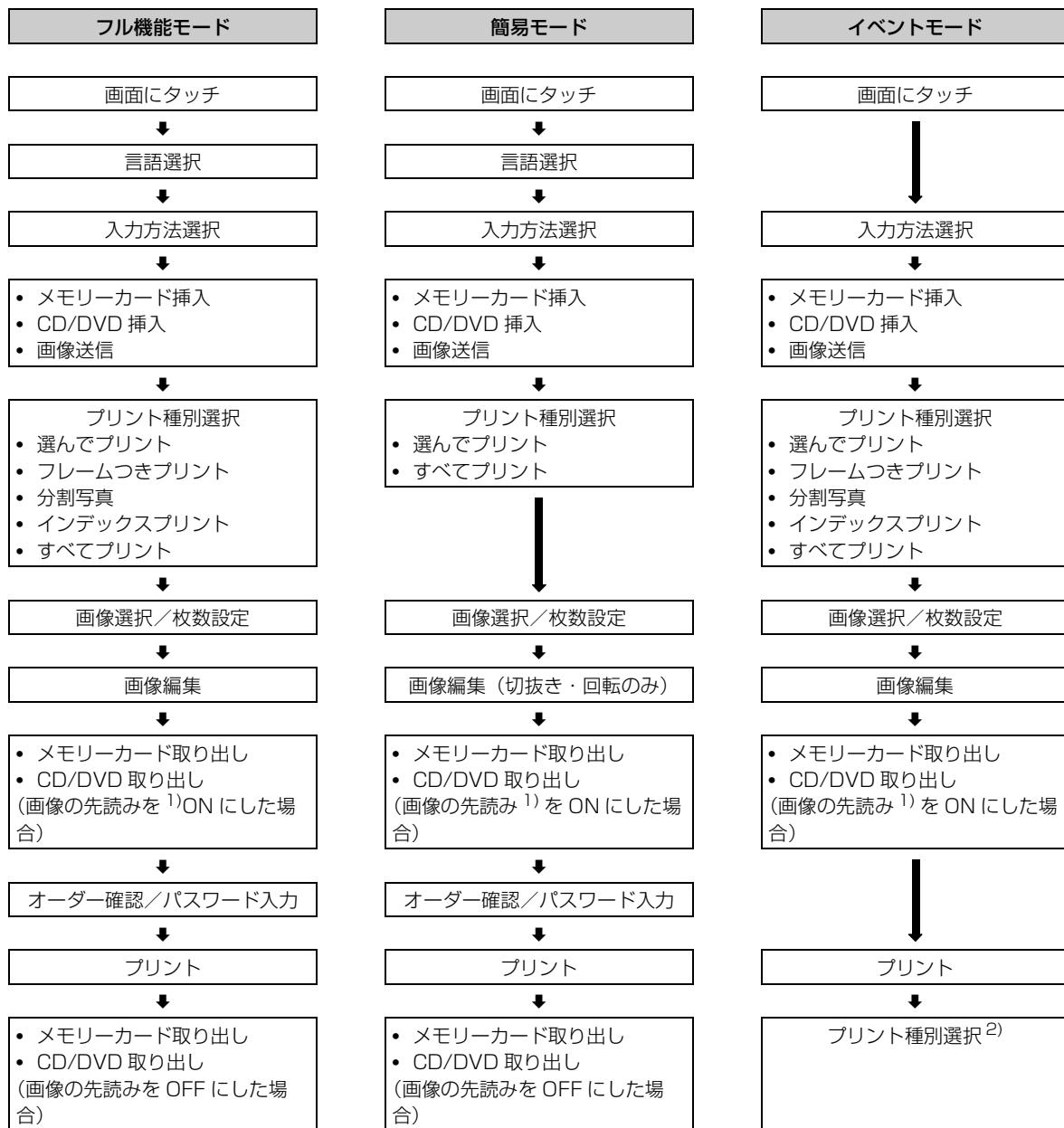
店頭でお客様が直接操作するセルフキオスクを想定したモードです。フル機能モードに比べ、使用できる機能を制限しています。機能を制限しているため、お客様が操作に迷うことなく、簡単に素早くプリントできます。
次の機能は使用できません。

- ・分割写真
- ・フレームつきプリント
- ・インデックスプリント
- ・切抜き・回転以外の画像編集

イベントモード

パーティや結婚式など、各種イベントでの使用を想定したモードです。
お客様に課金を気にせずにプリントしていただく場合、また店頭でショップのスタッフが操作をすべて行う場合に適しています。機能の制限はありません。
イベントモードでは、言語選択、料金設定、パスワード入力が不要です。

各モードの操作フロー



1) プリントを開始する前に、プリントする画像データを本機に読み込みます。

詳しくは、「画像先読みの設定をする」(51ページ)をご覧ください。

2) イベントモードの場合、プリントが終了してもメモリーカードやCD/DVDの取り出し画面が表示されず、プリント種別選択画面に戻ります。挿入したメモリーカードやCD/DVDを取り出したい場合は、プリント種別選択画面で「中止」ボタンにタッチしてください。

各操作モードに共通の設定

ここでは、どの操作モードを使用する場合にも必要な、基本的な設定について説明します。

使用する言語を選択する

設定および操作時に使用する言語を選択します。
出荷時には「英語」が設定されています。

1 管理画面の画面表示タブを開く。



2 [言語] の [1] ボタンにタッチする。

言語の一覧が表示されます。



3 設定したい言語にタッチしてから、[OK] ボタンにタッチする。

画面表示が選択した言語に変更されます。

操作時のオプション言語を指定する

■ 対象：フル機能モード、簡易モード

フル機能モードまたは簡易モードを使用する場合は、プリント操作時に使用する言語をさらに5種類設定できます。その場合、オーダー操作を開始する際に、設定されている言語の中からそのときの操作で使用する言語を選択できます。

オプション言語を設定する場合は、[言語] の [2] ~ [6] までのボタンのどれかにタッチし、言語の一覧から使用する言語を選択します。

他の番号に設定済みの言語は選択できません。

設定を取り消したいときは、言語の一覧で [(オフ)] にタッチします。

ご注意

- オプション言語は、イベントモードでは使用できません。
- 管理者画面やエラーメッセージは、常に [1] に指定した言語で表示されます。
- [1] の欄は、オフにできません。
- [1] 以外の言語を設定していない場合、オーダー時に言語選択画面が表示されません。

ヒント

たとえば、[1] 英語、[2] 日本語という設定を [1] 日本語、[2] 英語と変更するように、設定済みの言語同士を入れ替えたい場合は、一方の番号の設定をいったん取り消します。

- [2] にタッチして、言語一覧から [(オフ)] を選択する。
- [1] にタッチして、日本語を選択する。
- [2] にタッチして、英語を選択する。

時刻を設定する

本機の内蔵時計の時刻を設定します。

- 1 管理画面のシステムタブを開く。



- 2 [時計設定] ボタンにタッチする。

次の画面が表示されます。



表示形式

日付と時刻の表示形式を次の中から選択します。

日付

- 年・月・日（例：2010/6/1）
- 日・月・年（例：1/6/2010）
- Month・日・年（例：Jun/1/10）
- 月・日・年（例：6/1/2010）

時刻

- 24h（24時間表示）
- AM/PM（AM/PMを使って表示）

【▲】 [▼] ボタンを使って年月日および時刻を設定します。

- 3 設定が完了したら [OK] ボタンにタッチする。

設定されている日付が2008年以前の場合は、管理者画面を終了するときに時計設定画面が表示されますので、正しい日付を設定してください。

日付を設定せずにキャンセルするとスタートガイド画面に戻ります。

管理者用パスワードを設定する

管理画面を表示するためのパスワードを変更できます。管理者パスワードは、プリントの際に入力するパスワードとしても使用できます。

出荷時には、「9999」が管理者パスワードとして設定されています。

- 1 管理画面の管理タブを開く。



- 2 [パスワード] の [オン] ボタンをタッチする。

- 3 [管理者パスワード] の [] ボタンにタッチし、4けたの数字を入力する。

操作モードを選択する

使用するシーンに合わせて操作モードを選択します。

- 1 管理画面のシステムタブを開く。

- 2 [モード選択] で、設定する操作モードのボタンにタッチする。

設定した操作モードによって、設定が必要な項目が異なります。

フル機能モードおよび簡易モードを選択したときの設定については、「フル機能モードおよび簡易モードの設定」（37ページ）をご覧ください。

フル機能モードおよび簡易モードの設定

料金を設定する

1枚あたりのプリント料金を設定します。

料金は、サイズごとに設定します。インデックスプリントやフレームつきプリントなどの特殊プリントとマット仕上げに対しては、追加料金を設定できます。

また、オーダーごとに基本料を設定することもできます。基本料は、プリント枚数にかかわりなく、オーダーする際に必ず加算されるものです。基本料を設定した場合の合計金額は「(基本料金 + 追加料金) × 枚数 + 基本料」となります。

料金の設定例

基本料金	
L サイズ	25 円
はがき (KG) サイズ	25 円
2L サイズ	30 円
15 × 20 cm サイズ	40 円

追加料金	
インデックスプリント	10 円
フレームつきプリント	10 円
分割写真	10 円
マット仕上げ	5 円

その他	
基本料	50 円

料金計算の例

上記の料金設定でプリントする場合の例を示します。

- プリント内容:L サイズ、フレームつきプリント、マット仕上げ
- プリント枚数:5 枚

1枚の価格:25 円 (L サイズ) + 10 円 (フレームつき) + 5 円 (マット仕上げ) = 40 円

合計金額:40 円 (1枚の価格) × 5 枚 + 50 円 (基本料) = 250 円

メモ

料金設定では、1回にプリントする枚数によって単価を変える(バンド価格)こともできます。バンド価格について詳しくは、「バンド価格を設定する」(40 ページ)をご覧ください。

料金の設定は、管理画面の料金タブで行います。



表示

[オン] を選択すると、料金設定が有効になります。

この項目を [オン] にしないと、料金計算やレシートの出力、画面への料金表示が行われません。

通貨

料金計算に使用する通貨を設定します。

通貨ボタンにタッチすると、選択できる通貨の一覧が表示されます。使用する通貨にタッチして選択した後、[OK] ボタンにタッチします。通貨を表示させない場合は、[(12.34)] (小数点を表示させる場合) または [(1234)] (小数点を表示させない場合) を選択します。

画面表記	通貨
AUD	豪州ドル
CAD	カナダドル
CHF	スイスフラン
DKK	デンマーククローネ
EUR	ユーロ
GBP	英國ポンド
GRD	ギリシャドラクマ
YEN	日本円
NOK	ノルウェークローネ
NT	台湾ドル
NZD	ニュージーランドドル
RMB	中国元
Rs	インドルピー
RUB	ロシアルーブル
SEK	スウェーデンクローネ
SGD	シンガポールドル
THB	タイバーツ
TRL	トルコリラ
USD	米国ドル
HKD	香港ドル
KRW	韓国ウォン
MXN	メキシコペソ

画面表記	通貨
BRL	ブラジル レアル
COP	コロンビア ペソ
VEB	ベネズエラ ボリバル
XCD	東カリブ ドル
ARS	アルゼンチン ペソ
CLP	チリ ペソ
PEN	ペルー ヌエボソルス
ECS	エクアドル スクレ
UYU	ウルグアイ ペソ
PLN	ポーランド ズローチ
BGL	ブルガリア レフ
CZK	チェコ コルナ
HRK	クロアチア クナ
HUF	ハンガリー フォリン

料金

サイズごとの単価、特殊プリントを行う場合の追加料金、およびオーダーごとに課金する基本料を設定します。料金は0～9999（通貨によっては0～99.99）の範囲で設定できます。

ご注意

10×20 cm、6切、W6切の欄は、プリンターを増設した場合に有効になります。

料金を設定するには

- 1 [通常] ボタンにタッチする。
- 2  ボタンにタッチする。

次の画面が表示されます。



まず、サイズごとの基本料金を設定します。

- 3 料金を設定したいサイズの欄を選択し、 ボタンにタッチする。

画面にテンキーが表示されます。



- 4 テンキーにタッチして数値を入力し、[OK] ボタンにタッチする。

手順 3 で選択した料金欄に数値が表示されます。

次に特殊プリントの追加料金を設定します。

- 5 料金を設定したいプリント種別の欄を選択し、 ボタンにタッチする。



画面にテンキーが表示されます。

- 6 テンキーにタッチして数値を入力し、[OK] ボタンにタッチする。

手順 5 で選択した料金欄に数値が表示されます。

- 7 すべての料金の設定が完了したら、[OK] ボタンにタッチする。

パスワードを設定する

本機をセルフキオスクとして店頭などで使用する場合、プリントの前にプリント枚数と料金をショップのスタッフが確認して、お客様から料金を受け取った後、パスワードを入力する必要があります。

パスワードは、あらかじめ管理画面で設定した4けたの数字です。

パスワード入力画面の例



パスワードには、次の2種類があります。

管理者パスワード

プリントの際および管理画面を表示する際に必要です。本機の設定・管理を行う方だけが使用するパスワードです。

オーダー確認パスワード

プリントの際に入力するパスワードです。お客様に対応するスタッフが使用するパスワードです。

パスワードは以下の手順で設定します。

1 管理画面の管理タブを開く。



2 [パスワード] の [オン] ボタンをタッチする。

3 [管理者パスワード] の [■] ボタンにタッチし、4けたの数字を入力する。

4 [オーダー確認パスワード] の [■] ボタンにタッチし、4けたの数字を入力する。

パスワードを使わずにプリントするには

[パスワード] の [オフ] ボタンを選択するとパスワード入力画面を表示せずにプリントを行います。

高度な設定

バンド価格を設定する

1回のオーダーでプリントする枚数によって、1枚あたりのプリント料金を変えることができます。大量にプリントする際に値引きサービスができます。

価格はサイズごとに設定します。インデックスプリントやフレームつきプリントなどの特殊プリントおよびマット仕上げについては、追加料金を設定できます。

特殊プリントの単価は、バンド価格の単価 + 追加料金です。

ご注意

バンド価格が設定されていない場合は、[通常] で設定した料金が適用されます。[通常] で設定した料金が適用されている箇所は、料金が括弧付きで表示されます。

バンド価格の設定例

	L サイズ	はがきサイズ	2L サイズ	15×20 cm サイズ
1 ~ 10 枚	30 円	30 円	40 円	50 円
11 ~ 50 枚	25 円	25 円	35 円	45 円
51 枚以上	20 円	20 円	30 円	40 円

1 管理画面の料金タブを表示する。



2 [バンド] ボタンにタッチする。

3 [≡] ボタンにタッチする。

次の画面が表示されます。



4 [バンド価格] 欄で設定したいサイズのボタンにタッチする。

5 選択したサイズのバンド価格を設定する。

下限枚数：単価が適用される範囲の最小プリント枚数です。1行目は「1」固定で、2行目以降は前の行の設定内容に基づいて自動的に入力されます。

上限枚数：単価が適用される範囲の最大プリント枚数です。上限無しの場合は、空欄のままにします。

単価：その範囲でのプリント単価です。

それぞれの欄に数値を入力する際は、入力する欄にタッチしてから、[≡] ボタンにタッチします。設定例を次に示します。

料金設定例

1 ~ 10 枚	50 円
11 ~ 50 枚	40 円
51 枚以上	30 円

入力例

	下限枚数	上限枚数	単価
1	1	10	50
2	11	50	40
3	51		30

- 6 他のサイズも同様に、サイズのボタンにタッチしてから、ボタンにタッチして、料金を入力してください。
- 7 特殊プリントの追加料金を設定する。
- 8 必要な項目の設定が完了したら、[OK] ボタンにタッチする。

プリント枚数の上限を設定する

プリントできる枚数の上限を設定します。次の4つのモードで上限枚数を設定できます。

- 1回のオーダーでのプリント枚数（オーダー）
設定できる枚数は、1～999枚です。オーダーの上限枚数は、ほかのモードを設定した場合も有効です。
- 1回のオーダーでの料金（価格）
1回のオーダーの料金が指定した価格を超えると、プリントできません。設定できる価格は1～9999または0.01～99.99です。また、0を入力すると価格の上限なしになります。
上限価格は、ほかのモードを設定した場合にも有効です。
- 累計のプリント枚数（レンタル）
設定枚数以上はプリントできないため、貸し出し等の用途に適しています。プリントパックを交換しても、累計のカウントは継続します。設定できる枚数は、1～9999です。
- インクリボンの残量がなくなるまで（インクリボン）
プリントするときのインクリボンの残量で枚数の上限を決めます。インクリボンを選択したときは、枚数は設定できません。

- 1 管理画面の管理タブを開く。



- 2  (オーダー)、 (価格)、 (レンタル)、 (インクリボン) のいずれかのボタンにタッチする。
- 3  ボタンにタッチし、上限枚数または価格を入力する。

インクリボンを選択した場合は、枚数は設定できません。

レンタルまたはインクリボンを選択した場合

レンタルまたはインクリボンを選択した場合、オーダーおよび価格の設定も同時に有効となります。設定するときは、先にオーダーおよび価格を設定し、その後レンタルまたはインクリボンの設定をしてください。

レンタルまたはインクリボンを設定した後に、オーダーや価格を設定しなおす場合は、オーダーや価格の設定後、再度レンタルまたはインクリボンのボタンをタッチし、選択状態に戻してください。

- ① ボタンや管理画面のほかのタブをタッチする間に、
② または ③ ボタンが選択状態になっていることを確認してください。

レンタルを選択した場合

レンタルを選択した場合、枚数欄にはプリント可能枚数が表示されます。「0」が表示されているときは、上限枚数を再設定するまでプリントができません。

上限枚数を再設定するには、
ボタンにタッチして、枚数を入力してください。

価格を設定した場合

上限価格は、基本料、追加料金をすべて含めた金額です。また、常にマット仕上げを選択したものとして計算します（マット仕上げは、オーダーの確認時に追加できるため）。

バジェットコードを使用する

社内で使用する場合など、直接料金の支払いを行わない場合に、プリントを行った部署／担当ごとに費用を管理することができます。

その場合は、パスワードの代わりにバジェットコードを入力します。

バジェットコードは、事前に部署や担当ごとに4けたの数字を割り当てておき、担当者がその番号を入力します。

バジェットコードを使用する場合は、入力するコードごとに費用を管理できます。

バジェットコード入力画面の例

バジェットコードを入力して、「OK」ボタンをおしてください

選んでプリント		1 2 3 4
オーダー番号	00008	7 8 9
プリントサイズ	2L	4 5 6
枚数	1	1 2 3
@	30 YEN	0 クリア
料金	30 YEN	OK
プリント可能枚数	394	
プリント時間の目安	00:00:20	
戻る		

バジェットコードを使う場合の設定

- 1 管理画面の管理タブを開く。



2 [バジェットコード] の [オン] ボタンにタッチする。

バジェットごとのプリント枚数を確認するには、管理画面の管理タブでプリント履歴を開き、エクスポートします。詳しくは、「プリント履歴を表示する」(59ページ)をご覧ください。

カットモードを設定する

プリントパック 2UPC-R255 シリーズ、2UPC-R256 シリーズまたは 2UPC-C560 シリーズを使用する場合に、標準のプリントサイズ以外のサイズでプリントすることができます。これにより、プリントパックを交換しなくても、複数のサイズでプリントすることができます。

カットモードを設定した場合、オーダーを開始するときに、プリントサイズを選択する画面が表示されます。

カットモードで設定できるプリントサイズを次に示します。

2UPC-R255 シリーズ

- 2L サイズ (標準のプリントサイズ)
- L サイズ (標準サイズを 2 つにカットする)

2UPC-R256 シリーズ、2UPC-C560 シリーズ

- 15 × 20 cm サイズ (標準のプリントサイズ)
- 2L サイズ(15 × 20 cm サイズの用紙に 2L サイズでプリントする。周囲に余白ができる)
- KG サイズ (標準サイズを 2 つにカットする)



ご注意

標準の半分のサイズ (2UPC-R255 シリーズでの L サイズプリント、2UPC-R256/C560 シリーズでの KG サイズプリント) で 1 枚プリントした場合でも、標準サイズと同じ量のプリント紙、インクリボンを消費します。そのため、プリントに 1 枚端数があると、1 枚分のプリント紙とインクリボンが無駄になります。

[奇数 / 偶数メッセージ] を [オン] にすると、オーダーで 1 枚端数が出る場合にお客様にオーダーの追加を促すメッセージを表示します。

カットモードを設定するには

- 1 管理画面のプリンターの設定タブを開く。



- 2 [カットモード] の [オン] ボタンにタッチする。

- 3 ボタンにタッチする。

次の画面が表示されます。



- 4 プリントするサイズを選択する。

複数のサイズを選択できます。

- 5 [OK] ボタンにタッチする。

プリンターの設定タブに戻ります。

- 6 必要に応じて、[奇数 / 偶数メッセージ] をオンにします。

[奇数 / 偶数メッセージ] を [オン] にすると、カットモードでプリントする際、オーダーで1枚端数が出る場合にメッセージを表示します。

プリントにオーダー番号やファイル名を透かし状に入れる

プリント紙にオーダー番号やファイル名をプリントするかどうかを設定します。

オーダー番号やファイル名は、プリントの端に透かし状に印字されます。

管理画面のプリンターの設定タブを開き、[オーダー番号記録]、[ファイル名] のいずれかのボタンにタッチします。



(すべてに記録する)

すべてのプリントにオーダー番号をプリントします。

(先頭のみ記録する)

各オーダーの最初の画像をプリントするときにオーダー番号をプリントします。最初の画像を複数枚プリントするときは、最初の画像のプリントすべてにプリントします。

(ファイル名を記録する)

すべてのプリントに画像のファイル名をプリントします。

ご注意

- 「ファイル名を記録する」は、分割写真やインデックスプリントでは使用できません。
- プリントできるファイル名は、半角英数字のみです。
- ウォーターマークを入れてプリントする場合は、オーダー番号およびファイル名はプリントされません。

オフ

オーダー番号やファイル名をプリントしません。

拡張コンパクトフラッシュを使用する

拡張コンパクトフラッシュを必要とする機能

次の機能を使用する場合は、データや設定を保存するコンパクトフラッシュ（拡張コンパクトフラッシュ）が必要です。

- ・フレームおよびテキストとの合成プリント
- ・プロモーション画像の表示
- ・システム履歴、プリント履歴のエクスポート
- ・Bluetooth 通信を使ったプリント
- ・パスワードファイルの作成
- ・プリントする画像の先読み
- ・ワイヤレス機能を搭載したデジタルカメラからのプリント
- ・透かしを入れたプリント（ウォーターマーク）

拡張コンパクトフラッシュは、市販のコンパクトフラッシュを使って作成します。

コンパクトフラッシュ（Type-I、Type-II）およびマイクロドライブが使用できます。容量が 512 MB 以上で読み書き速度の速いコンパクトフラッシュの使用を推奨します。

拡張コンパクトフラッシュのフォルダ構成

拡張コンパクトフラッシュには、プロモーション画像やフレームつきプリントのテンプレートなどのデータを保存します。

拡張コンパクトフラッシュのフォルダ構成を次に示します。本機付属の CD-ROM も同様のフォルダ構成になっているので、CD-ROM からフォルダごとデータをコピーすることで、拡張コンパクトフラッシュを作成できます。

CD-ROM に収録されているデータをすべてコピーするには、512 MB 以上の容量が必要です。

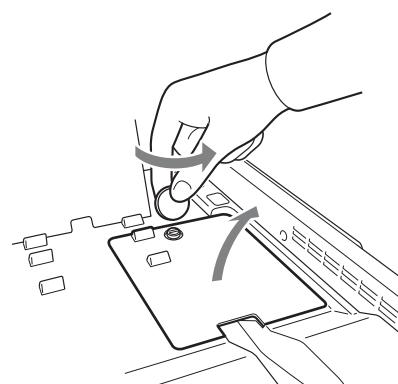
—Sony—UPCR20

Promotion	プロモーション画像
Template	フレームつきプリントのテンプレート
Watermark	ウォーターマークのテンプレート

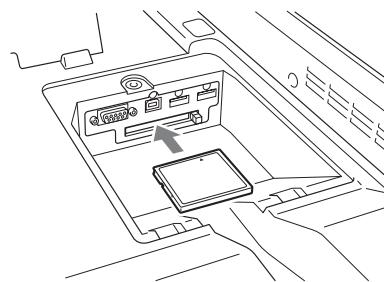
拡張コンパクトフラッシュを本機に取り付ける

拡張コンパクトフラッシュとして使用する、コンパクトフラッシュを本機の拡張コンパクトフラッシュ用スロットに取り付けます。

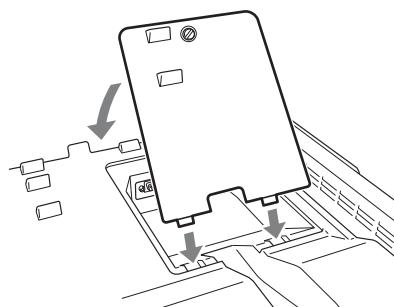
- 1 本機上部の拡張端子部ふたのネジをはずして、ふたを開ける。



- 2 拡張コンパクトフラッシュ用スロットに、コンパクトフラッシュを挿入する。



- 3 拡張端子部のふたを閉める。



拡張コンパクトフラッシュの空き容量を確認する

本機に取り付けた拡張コンパクトフラッシュの空き容量はインクリボンの残量確認画面で確認できます。インクリボンの残量確認画面の表示方法については、「インクリボンの残量を確認する」(27 ページ)をご覧ください。



付属の CD-ROM からデータをコピーする

本機付属の CD-ROM にはプロモーション画像とフレームのデータが収録されています。CD-ROM から拡張コンパクトフラッシュにデータをコピーします。

1 管理画面のテンプレートタブを開く。



2 [全てコピー] ボタンにタッチする。

CD-ROM を入れるようメッセージが表示され、CD/DVD ドライブのトレイが開きます。

3 CD/DVD ドライブに CD-ROM を入れ、画面の [OK] ボタンにタッチする。

CD-ROM から拡張コンパクトフラッシュにデータがコピーされます。

コピーが終了すると、トレイが開きます。CD-ROM を取り出してください。

ユーザーが作成したデータをコピーする

プロモーション画像やフレームつきプリントのテンプレートは、ユーザーが作成したオリジナルデータをコピーして使用することができます。

パソコンで作成したデータは、メモリーカードや USB メモリーを使って、拡張コンパクトフラッシュにコピーできます。

1 お使いのパソコンに、メモリーカードまたは USB メモリーをセットする。

2 作成したユーザーデータをメモリーカードまたは USB メモリーにコピーする。

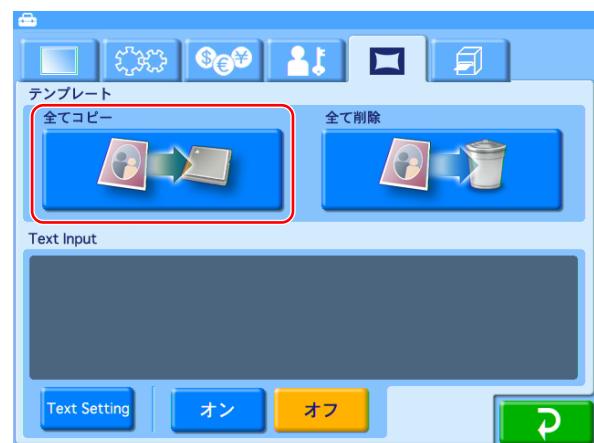
メモリーカードまたは USB メモリーのフォルダ構成は、拡張コンパクトフラッシュと同じになります。フォルダ構成について詳しくは、「拡張コンパクトフラッシュのフォルダ構成」(45 ページ)をご覧ください。

ご注意

ファイルのパスが 200 文字を超える場合、および半角英数字以外の文字を含む場合は、ファイルを読み込めない場合があります。

3 本機に拡張コンパクトフラッシュがセットされていることを確認する。

4 管理画面のテンプレートタブを開く。



5 [全てコピー] ボタンにタッチする。

6 データをコピーしたメモリーカードまたはUSBメモリーを、本機のスロットに挿入する。

メモリーカードまたはUSBメモリーから拡張コンパクトフラッシュに、データがコピーされます。

拡張コンパクトフラッシュのデータをすべて削除する

拡張コンパクトフラッシュのデータをすべて削除するには、管理画面のテンプレートタブで、[全て削除] ボタンにタッチします。

ご注意

拡張コンパクトフラッシュの「¥Sony¥UPCR20」フォルダ以下のすべてのフォルダとファイルが削除されます。読み取り専用のファイルやフォルダも削除されます。

プロモーション画像を設定する

■ 対象：フル機能モード、簡易モード

本機の待ち受け画面として、任意の画像（プロモーション画像）を表示させることができます。

プロモーション画像は最大5つまで設定でき、順番に表示できます。

また、プロモーション画面を表示させるとときは、標準のスタート画面の表示／非表示も選択できます。

プロモーション画像を作成する

プロモーション画像は、市販の写真編集ソフトなどで作成してください。

作成したプロモーション画像は、メモリーカードやUSBメモリーに「¥Sony¥UPCR20¥Promotion」フォルダを作成して保存します。

プロモーション画像の仕様

画像サイズ：640 × 480 ピクセル

ファイル形式：ベースライン JPEG または 24 ビット bmp
(プログレッシブ JPEG およびグレースケール (8bit) JPEG には対応していません)

ファイル名：promo1.jpg/bmp ~ promo5.jpg/bmp

ファイル格納先：¥Sony¥UPCR20¥Promotion

プロモーション画像を本機にコピーする

1 拡張コンパクトフラッシュがセットされていることを確認する。

2 管理画面のテンプレートタブを開き、[全てコピー] ボタンにタッチする。

3 プロモーション画像を保存したメモリーカードまたはUSBメモリーを本機のスロットに挿入する。

コピーについて詳しくは、「ユーザーが作成したデータをコピーする」（46 ページ）をご覧ください。

プロモーション画像の表示間隔を設定する

プロモーション画像が複数ある場合に、各画像の表示間隔を設定できます。設定した時間が経過すると、次の画像に切り替わります。

1 管理画面の画面表示タブを開く。



2 [プロモーション画像] の [オン] ボタンにタッチする。

3 ボタンにタッチして、時間を入力する。

設定できる時間は、5 ~ 60 秒です。

スタート画面の表示・非表示を設定する

プロモーション画像が設定されている時には、下記のスタートガイド画面を非表示にすることができます。



スタートガイド画面を非表示にするには、管理画面の画面表示タブで、[スタートガイド] の [オフ] を選択します。

フレームを追加する

■ 対象：フル機能モード、イベントモード

本機付属の CD-ROM に収録されているフレームのほかに、オリジナルのフレームを作成して使用することができます。

フレーム画像を作成する

フレーム画像は市販の画像処理ソフトなどで作成してください。作成した画像は、本機で扱える形式に変換する必要があります。

フレーム画像の作成方法について詳しくは、UP-CR25L のサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

作成したフレームをコピーするには

- 1 拡張コンパクトフラッシュがセットされていることを確認する。
- 2 管理画面のテンプレートタブを開き、[全てコピー] ボタンにタッチする。
- 3 フレームを保存したメモリーカードまたは USB メモリーを本機のスロットに挿入する。

コピーについて詳しくは、「ユーザーが作成したデータをコピーする」(46 ページ) をご覧ください。

画像とテキストを合成する

画像の上にテキストを合成してプリントすることができます。フレームの上に合成することもできます。

合成できるテキストは英数字のみです。英数字以外の文字や飾り文字を使用したい場合は、文字の入ったフレーム画像データを作成してください。

ご注意

テキストを設定すると、プリントするすべての画像にテキストが合成されます。

1 管理画面のテンプレートタブを開く。

2 [Text Setting] ボタンにタッチする。

テキスト入力画面が表示されます。

Steve and Janet's Wedding



3 [Input] タブで文字を入力し、他のタブで書式を設定する。

[Input] タブ

画面上のキーボードにタッチして、テキストを入力します。

英数字と記号が使用でき、1 行 64 文字までで 2 行入力できます。

入力した文字を取り消すには、[BS] ボタンにタッチします。タッチし続けると、カーソルのある行をすべて削除します。

[Font] タブ

表示するフォントを選択します。

[Size] タブ

[+] [-] ボタンで文字のサイズを設定します。設定できるサイズは 4 ~ 72 ポイントで、2 ポイント単位で変更できます。

[Position] タブ

文字を配置する位置および文字の向きを設定します。

[Color] タブ

文字色を選択します。

ご注意

設定した文字数やサイズによっては、すべての文字をプリントできない場合があります。

4 テキストが完成したら、[OK] ボタンにタッチする。

テンプレートタブに戻ります。

5 [Text Input] の [オン] ボタンにタッチする。

透かしを入れてプリントする（ウォーターマーク）

■ 拡張コンパクトフラッシュが必要

■ 対象：全操作モード

ロゴや文字、イラストなどお好みのデザインを、写真上に透かしのように入れてプリントすることができます。

ウォーターマークのデザイン作成方法や使用方法などについて詳しくは、UP-CR25L のサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) を併せてご覧ください。

ご注意

ウォーターマーク機能を使用する場合、オーダー番号やファイル名をプリントすることはできません。

ウォーターマークのテンプレートを作成する

ウォーターマークのテンプレートを画像データとして作成します。テンプレートは、市販の写真編集ソフトなどで作成してください。

テンプレートは、モノクロで作成します。テンプレートの黒い部分がマット処理でプリントされ、透かし状の仕上がりになります。

メモ

本機付属の CD-ROM の ¥Sample¥ Watermark フォルダに、ウォーターマークのサンプルテンプレートが収録されていますので、作成の参考にご使用ください。

テンプレートのサイズとファイル名は次の表に従ってください。

プリントサイズ	テンプレートサイズ ¹⁾ (横×縦ピクセル)	ファイル名
L (89 × 127 mm)	1728 × 1210	watermark_3x5.png
はがき (102 × 152 mm)	2048 × 1382	watermark_4x6.png
2L (127 × 178 mm)	1728 × 2380	watermark_5x7.png
15 × 20 cm (152 × 203 mm)	2048 × 2724	watermark_6x8.png

1) テンプレートサイズは、必ず縦横を守って作成してください。
回転して保存した場合は、正しくプリントできません。

ファイルフォーマットは次のとおりです。

- 階調：8 bit¹⁾
- 色：グレースケール

- ファイル形式：PNG（インターレースなし）²⁾

- 1) プリント時は 4bit 階調処理になります。
- 2) インターレース形式のファイルは使用できません。写真編集ソフトで保存する際に PNG オプションに「なし」を指定してください。

ご注意

- ウォーターマークのファイルが拡張コンパクトフラッシュに保存されている場合は、「マット」を選択しても、マット仕上げでのプリントはできません。
- プリントの仕上げに光沢を選択したときは、ウォーターマークはプリントされません。

ご注意

- テンプレートの上下左右の端から 65 ピクセルの範囲は、プリントされないことがあります。
- テンプレートは事前にテストを行ってからご使用ください。

テンプレートのデザインによっては、ウォーターマークにスジが入ってプリントされる場合があります。その場合には、テンプレートの黒い部分の面積を減らしたり、配置を変更するなどしてください。

ウォーターマークのテンプレートを拡張コンパクトフラッシュにコピーする

作成したテンプレートは、メモリーカードや USB メモリーを使って、本機の拡張コンパクトフラッシュにコピーします。

メモリーカードまたは USB メモリーに「¥Sony¥UPCR20¥Watermark」フォルダを作成し、そこに作成したテンプレートを保存してください。

本機付属の CD-ROM に収録されているサンプルテンプレートを使用するときは、CD-ROM の¥Sample¥Watermark フォルダ以下を、メモリーカードまたは USB メモリーの¥Sony¥UPCR20¥Watermark フォルダ以下にコピーしてください。

メモリーカードや USB メモリーを使って、拡張コンパクトフラッシュにテンプレートをコピーする方法については、「ユーザーが作成したデータをコピーする」（46 ページ）をご覧ください。

透かしを入れてプリントする

透かしを入れてプリントするには、「プリントの仕上げ」に「マット」を選択してプリントします。プリントの仕上げの選択は、次のときに行えます。

- オーダー確認画面で「マット」にタッチする
- 画像選択画面またはメインメニュー（イベントモードの場合）で  にタッチし、表示される画面で「マット」にタッチする

画像先読みの設定をする

■ 拡張コンパクトフラッシュが必要

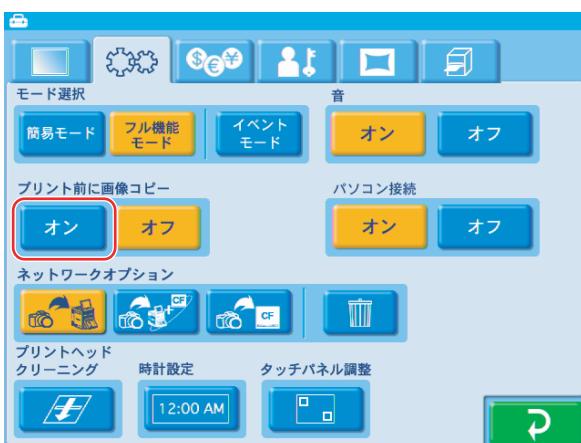
プリントを開始する前に、プリントする画像を読み込むかどうかを設定します。

画像の先読みをオンにすると、プリントを開始する直前にプリントする画像のデータをメモリーカードやCD/DVDから拡張コンパクトフラッシュに読み込みます。読み込みが完了すると、メモリーカードまたはCD/DVD取り出し画面が表示されます。プリント開始前にメモリーカードを取り出すため、メモリーカードの取り忘れを防ぐことができます。

ご注意

- 1回のオーダーでプリントできる画像の数は、拡張コンパクトフラッシュの空き容量によって制限されます。インデックスプリントや分割プリントのような1枚に複数の画像がはめ込まれるプリントの場合、はめ込まれる画像がすべて拡張コンパクトフラッシュにコピーされます。そのため、充分な空き容量のある拡張コンパクトフラッシュを使用してください。
- 画像の先読みを行うため、プリントする画像の数やサイズによっては、プリント開始までに時間がかかることがあります。
- 画像の先読みがオンになっている場合、いったんオーダー確認画面まで進むと、前の画面に戻ってオーダーを再設定することができません。

1 管理画面のシステムタブを開く。



2 [プリント前に画像コピー] の [オン] ボタンにタッチする。

ヒント

画像の先読みをオフにした場合は、プリントの実行時にメモリーカードやCD/DVDから画像を読み込みます。プリントが終了すると、メモリーカードまたはCD/DVD取り出しの指示画面が表示されます。

メモリーカードを使用してパスワードを入力する(リモートパスワード入力)

■ 拡張コンパクトフラッシュが必要

オーダー確認パスワードを入力するときに、画面上のテンキーを使って入力するのではなく、パスワードを記録したメモリーカードやUSBメモリーを挿入することでパスワードを入力することができます。

あらかじめ、パスワードを記録したファイル(パスワードファイル)を本機の管理画面で作成し、それをメモリーカードやUSBメモリーに保存します。

パスワードファイルを保存したメモリーカードまたはUSBメモリーは、本機上部のUSB端子(ホスト)やUSB端子(ホスト)に接続したカードリーダーで読み取ることができます。また、本機前面のメモリーカードスロットから読み取ることもできます。

パスワードファイルを作成する

1 拡張コンパクトフラッシュがセットされていることを確認する。

2 管理画面の管理タブでオーダー確認パスワードを設定し、[?]ボタンにタッチする。

拡張コンパクトフラッシュのルートフォルダに、snaplab.txtという名称のファイルが作成されます。これがパスワードファイルです。

ファイルには次のように記述されています。

```
[password]
pass=****
```

**** = 設定したパスワード

3 拡張コンパクトフラッシュを抜き、使用するメモリーカードのルートフォルダにパスワードファイルをコピーする。

拡張コンパクトフラッシュに保存したままでは、パスワードファイルは使用できません。

ご注意

管理者パスワードの設定時には、パスワードファイルは作成されません。

Bluetooth® 通信を使ったプリントの準備をする

■ 拡張コンパクトフラッシュが必要

別売りの Bluetooth USB アダプター¹⁾ を使用すると、携帯電話などの Bluetooth 対応機器からワイヤレスで画像を転送してプリントできます。Bluetooth 通信を使って画像を転送した場合も、メモリーカードから読み込んでプリントする場合と同様のプリントサービスが利用できます。

- 1) ご使用になれる Bluetooth USB アダプターについては、「仕様」の「別売り品」(87 ページ)をご覧ください。

Bluetooth 通信を使ってプリントする場合は、次の準備が必要です。

- 拡張コンパクトフラッシュをセットする
本機上部の拡張コンパクトフラッシュ用スロットに、拡張コンパクトフラッシュがセットされていることを確認してください。
- Bluetooth USB アダプター（別売）をセットする
本機上部の USB 端子（ホスト）に、Bluetooth USB アダプターを差し込んでください。

Bluetooth 通信を行うための条件

対応プロファイル

本製品は、以下のプロファイルに対応しています。

- BIP (Basic Imaging Profile)
- OPP (Object Push Profile)

ご使用の Bluetooth 対応機器の対応プロファイルについては、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

プロファイルとは？

Bluetooth 通信を行うための規格です。使用目的やお使いになる製品の特性によって、いくつかのプロファイルがあります。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器が共通のプロファイルに対応している必要があります。

システムの設定



ビープ音を設定する

本機の操作時やエラー時に、ビープ音を鳴らすかどうかを設定します。

ビープ音を設定するには、管理画面のシステムタブで、[音] の [オン] または [オフ] ボタンにタッチします。

別売りワイヤレス機器使用時のオプションを設定する

■ 拡張コンパクトフラッシュが必要

別売りのワイヤレスアダプター¹⁾ を使用すると、ワイヤレス機能を搭載したデジタルカメラを操作して画像を転送することができます。ワイヤレスアダプターの設定や操作については、ワイヤレスアダプターの取扱説明書を併せてご覧ください。

- 1) サイレックス・テクノロジー社製の SX-WSG1 が必要です。詳細については、UP-CR25L のサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

画像が転送されたときにどのように処理するかを設定できます。[ネットワークオプション] で次のオプションが選択できます。

- (画像をプリント)

転送された画像をプリントします。転送された画像は、プリント終了時に拡張コンパクトフラッシュから削除されます。

-  (画像をプリントして保存)

転送された画像をプリントして、さらに拡張コンパクトフラッシュに保存します。保存したデータは「保存フォルダ」からプリントできます。

-  (画像を保存)

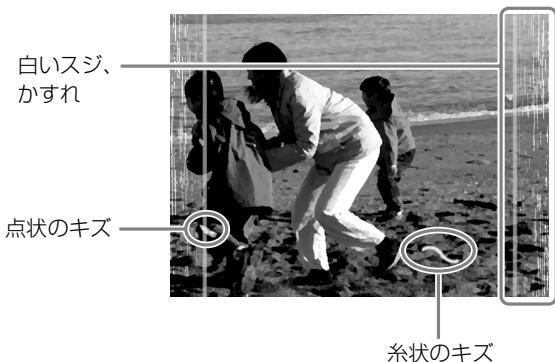
転送された画像を拡張コンパクトフラッシュに保存します。保存したデータは「保存フォルダ」からプリントできます。

保存フォルダに保存した画像を削除する場合は、 ボタンにタッチします。

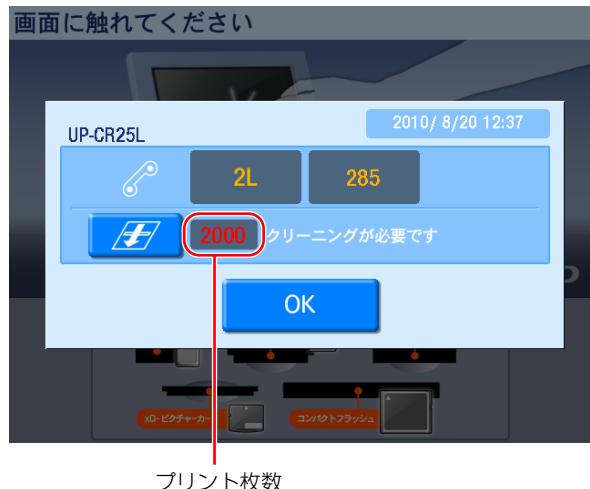
クリーニング

プリンター内部のクリーニング

プリント画面上に白いスジやかすれ、キズなどの印画不良が生じた場合は、サーマルヘッドのクリーニングや、ローラーのクリーニングが必要です。特にプリントパック 2UPC-R253 シリーズや 2UPC-R255 シリーズを使って大量にプリントしたあとに、2UPC-R254 シリーズや 2UPC-R256/C560 シリーズを使用すると、白いスジやかすれが出やすくなります。



クリーニング時期の目安は、インクリボンの残量確認画面で確認できます。インクリボンの残量確認画面は、スタートガイド画面の右上隅を 2 回続けてタッチして表示します。



プリント枚数が一定の数を超えると、クリーニングが必要というメッセージが表示されます。その場合は、**■** ボタンにタッチして、クリーニングを開始してください。

クリーニングには以下のものが必要です。

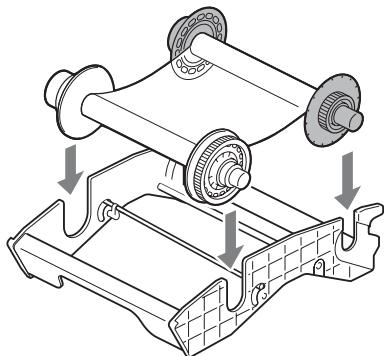
- プリンター本体に付属しているクリーニングリボン
- プリントパックに同封されているクリーニングシート (Cleaning Sheet)
- プリント紙

ご注意

- クリーニングリボンは繰り返し使用します。捨てないでください。
- クリーニングシートは再利用できません。一度使った後は廃棄してください。
- プリント紙の残量が少ない場合にはエラーになることがあります。プリント紙を交換してやり直してください。

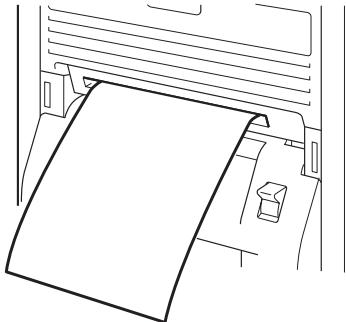
- 1 **■** ボタンにタッチする。
- 2 排紙カバー、排紙トレイおよびスクラップボックスを取りはずす。
- 3 プリント紙が入っていることを確認する。
- 4 リボンドアを開け、リボントレイを取り出す。

- 5 インクリボンを取りはずし、クリーニングリボンを取り付ける。



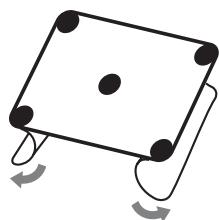
- 6 リボントレイを本機に挿入し、リボンドアを閉める。
7 メッセージの [OK] ボタンにタッチする。

自動的にプリント紙が約 20 cm 排出され、クリーニング開始のメッセージが表示されます。



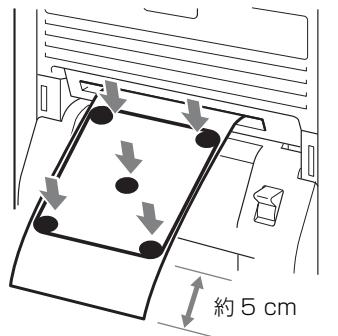
- 8 クリーニングシートの裏面（イラストが印刷されていない面）の紙をはがす。

表裏を間違えないように注意してください。

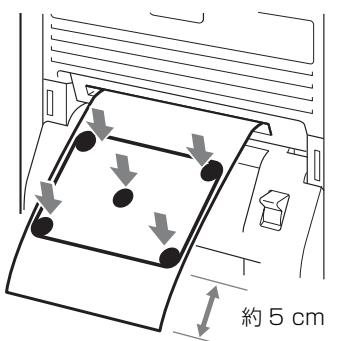


- 9 プリント紙の幅に合わせてクリーニングシートの向きを決め、図を参考に紙の先端から約 5 cm の位置に左右均等に貼り付けます。

- 2UPC-R253/R255 シリーズを使用している場合
クリーニングシートを縦長に貼り付けてください。

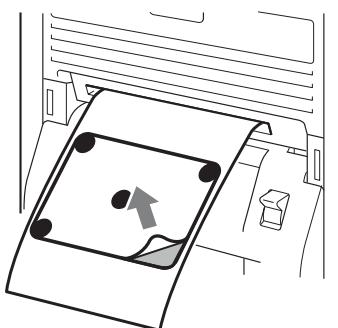


- 2UPC-R254/R256/C560 シリーズを使用している場合
クリーニングシートを横長に貼り付けてください。



- 10 クリーニングシートの表面の紙をはがす。

クリーニングシートの四隅が、浮いたりめくれたりしていないことを確認してください。



- 11 メッセージの [OK] ボタンにタッチする。

サーマルヘッドとローラーのクリーニングが開始され、内部のごみや汚れを取り除きます。クリーニングが終わるとプリント紙がカットされクリーニングシートが排出されます。

ご注意

クリーニングの完了後、クリーニングシートがすべて排出されたことを確認してください。クリーニングシートが残っている場合はクリーニングシートを貼った部分をすべてカットしてからお使いください。

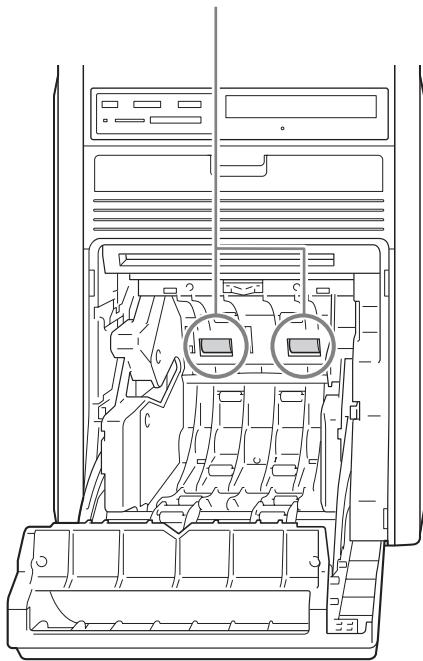
12 リボンドアを開け、クリーニングリボンを取り出す。**紙送りローラーのクリーニング：**

紙送りローラーが汚れている場合には、ローラーを廻しながら、アルコールを浸した柔らかい布で軽く拭きます。

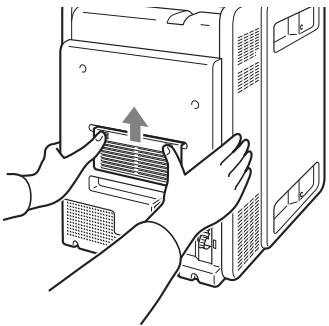
ご注意

紙送りローラーのクリーニングは、必ず POWER スイッチを OFF にして電源を切り、電源コードを抜いてから行ってください。

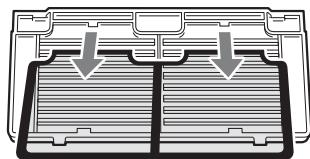
紙送りローラー

**通気孔のフィルターが汚れたら**

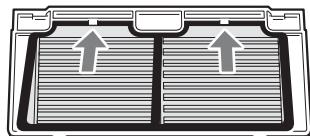
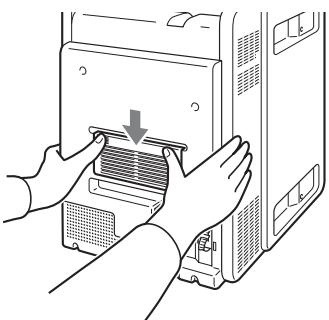
本機裏面には、通気孔のフィルターがあります。フィルターは、1ヶ月をめどに定期的に掃除をしてください。フィルターが汚れると、サーマルヘッドの冷却時間が長くなり、印画時間が変わってきます。

1 フィルターカバーの上部を指で押し上げながら取りはずす。**2** フィルターカバーから、フィルターをはずす。

フィルターは4か所のつめでとめられています。

**3** 水洗いしてほこりを取り除く。**ご注意**

フィルターの網をブラシなどでこすらないでください。

4 完全に乾いたら、フィルターをフィルターカバーに取り付ける。**5** フィルターカバーをプリンターに取り付ける。

キャビネットが汚れたら

キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしほって、汚れを拭き取ってください。その後、乾いた布でから拭きしてください。

シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げを傷めることができますので、使用しないでください。

ディスプレイが汚れたら

ディスプレイの汚れがひどいときは、水で湿らせた布をかたくしほって拭くか、から拭きしてください。中性洗剤はディスプレイの表面を傷めることができますので、使用しないでください。また、ディスプレイの表面を硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

プリンターの画質を設定する

プリンターの画質を調整する

プリンターの画質を調整するには、管理画面のプリンターの設定タブを開き、ボタンにタッチします。次の画面が表示されます。

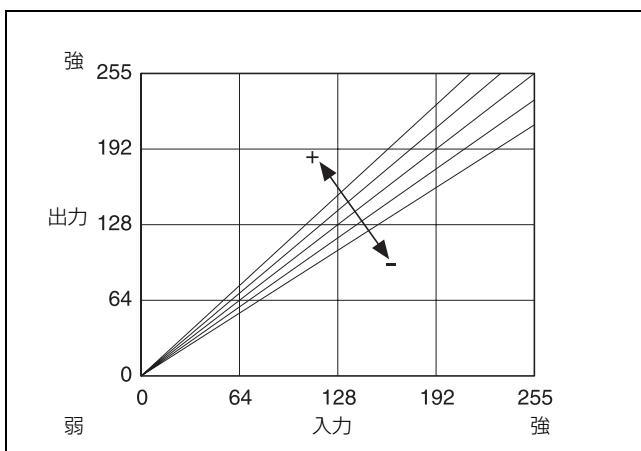


カラーバランスを調整する

カラーバランスを調整します。[赤]、[緑]、[青] 各項目のスライダーを [◀] [▶] ボタンを使って、調整します。

赤、緑、青

赤、緑、青の各色はスライダーを右 (+) に動かすほど強くなり、左 (-) に動かすほど弱くなります。例えば、[赤] のスライダーを左 (-) に動かすと赤が弱くなり、補色であるシアンが強くなります。

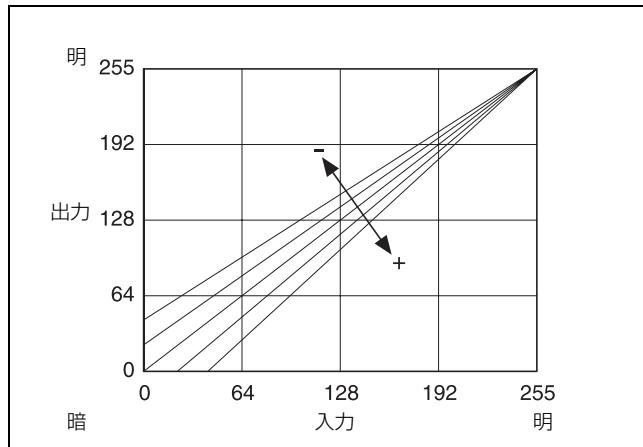


明るさを調整する

明るさを調整します。[暗い]、[明るい]、[ガンマ]、[シャープネス] 各項目のスライダーを [◀] [▶] ボタンを使って、調整します。

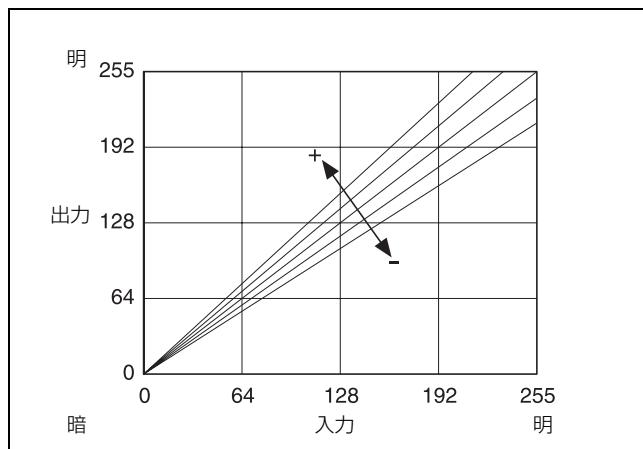
暗い

暗い部分の階調を調整します。暗い部分の階調は、スライダーを右 (+) に動かすほど暗くなり、左 (-) に動かすほど明るくなります。



明るい

明るい部分の階調を調整します。明るい部分の階調は、スライダーを右 (+) に動かすほど明るくなり、左 (-) に動かすほど暗くなります。

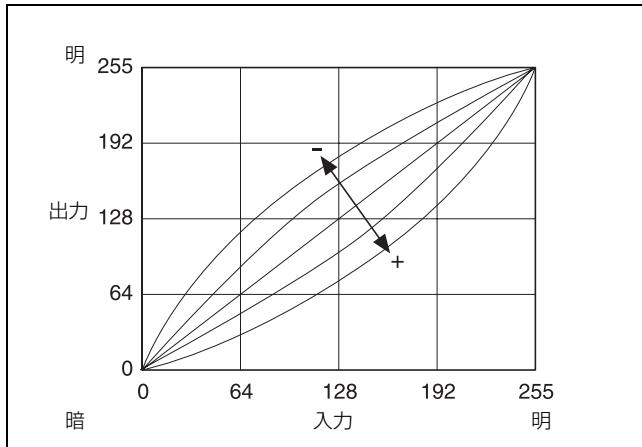


メモ

コントラストを調整するためには、[暗い] と [明るい] を同時に動かします。[暗い] と [明るい] を右 (+) に動かすとコントラストが強くなり（硬調）、左 (-) に動かすとコントラストが弱くなります（軟調）。

ガンマ

中間色の階調を調整します。中間色部分の階調は、スライダーを右 (+) に動かすほど暗くなり、左 (-) に動かすほど明るくなります。



シャープネス

画像の輪郭を調整します。画像の輪郭は、スライダーを右 (+) に動かすほど強調されていき、左 (-) に動かすほど弱まり、柔らかになります。

グレーバランスを調整する

本機のグレーバランスは無彩色と計測された調整値 No. 0 に設定されています。お好みの色味に調節したい場合は、以下の手順で調節してください。

インクリボンとプリント紙は、まれに輸送環境などによりグレーバランスに多少のばらつきがある場合があります。

- 1 管理画面のプリンターの設定タブを開き、 ボタンにタッチする。
- 2 ボタンにタッチする。
A と B、2 種類のパッチがプリントされます。それぞれ、No. 0 ~ No. 88 までのグレーパターンがプリントされます。
2UPC-R253 シリーズ、2UPC-R254 シリーズの場合は、プリント A とプリント B の 2 枚に分けてプリントされます。
2UPC-R255 シリーズ、2UPC-R256 シリーズ、2UPC-C560 シリーズの場合は、1 枚にプリントされます。
それぞれのプリント結果について、No. 0 ~ No. 88 までのパターン中、グレーバランスが最適と思われるものを決めます。
- 3 [グレー A-B プリント] の [A] に、プリント結果 A の中で最適と思われるパターンの番号を入力する。
入力は、 ボタンにタッチして行います。

- 4 同様に、[グレー A-B プリント] の [B] に、プリント結果 B の中で最適と思われるパターンの番号を入力する。
- 5 [OK] ボタンにタッチする。

本機に増設したプリンターの画質を設定する

- 1 管理画面のプリンターの設定タブを開き、 ボタンにタッチします。

画質を調整するための画面が表示されます。

- 2 表示された画面で、本機と同様に調整を行います。

ご注意

増設したプリンターのグレーバランスの調整については、増設したプリンターの取扱説明書、および UP-CR25L のサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

ログを出力する

本機のプリント履歴およびシステム履歴を表示できます。

プリント履歴を表示する

管理画面の管理タブを開き、[プリント履歴] のボタンにタッチすると、プリント履歴が表示されます。

オーダー No.	日時	プリント サイズ	プリント の種類	枚数	料金
0001	2008/ 7/30 15:16	5x7"	P	0/1	0
0002	2008/ 7/30 16:39	5x7"	P	0/1	0
0003	2008/ 7/30 16:44	5x7"	P	0/1	0
0004	2008/ 8/ 1 17:15	5x7"	P	0/1	0
0005	2008/ 8/ 1 17:17	5x7"	P	0/1	0
0006	2008/ 8/11 14:03	5x7"	S	1/1	25



ページ
01/01



次の項目が、オーダーごとに表示されます。

- オーダー No.
- 日付
- プリントサイズ
- プリントの種類 (P: 選んでプリント、I: インデックスプリント、S: 分割写真、B: フレームつきプリント、A: すべてプリント)
- 枚数
- 料金

ボタン

プリント履歴を、CSV ファイル形式で拡張コンパクトフラッシュにエクスポートします。バジェットコードを使用しているときは、エクスポートした CSV ファイルにバジェットコードが表示されます。

売り上げ履歴を表示する

管理画面の管理タブを開き、[サマリー] のボタンにタッチすると、売り上げ履歴が表示されます。



対象とする日または月の売り上げをプリントサイズごとに集計して表示します。次の項目が表示されます。

- プリントサイズ
- プリント枚数（お客様のオーダー以外に受付票などをプリントした場合は、「(オーダー枚数) + (オーダー以外のプリント枚数)」と表示されます。）
- サイズごとの売り上げ金額
- 合計金額

[日ごと] / [月ごと] ボタン

集計する期間を変更します。

[◀] / [▶] ボタン

集計対象の日または月を移動します。

システム履歴を表示する

管理画面の管理タブを開き、[システム履歴] のボタンにタッチすると、システム履歴が表示されます。



次の項目が表示されます。

- プリントカウンター
- 累積プリント枚数
- サーマルヘッドのプリント枚数
- 作動時間（電源投入からの時間、ファン、LCD バックライトの作動時間）
- ファームウェアのバージョン

⇒ CSV ボタン

システム履歴を CSV ファイル形式で拡張コンパクトフラッシュにエクスポートします。

→← ボタン

プリントカウンターをリセットします。

⟳ ボタン

ファームウェアをバージョンアップします。

ファームウェアのバージョンアップに関する最新の情報については、UP-CR25L のサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

ご注意

バージョンアップ中は本機の電源を切らないでください。ファームウェアのバージョンアップが完了すると、本機が再起動します。

タッチパネルを調整する

タッチパネルと画面表示のズレを調整します。

- 1 管理画面のシステムタブを開き、[タッチパネル調整]ボタンにタッチする。

タッチパネル調整用の画面が表示されます。
調整用の画面上には、四角形が表示されています。



- 2 画面に表示されている四角形にタッチする。
- タッチすると、別の位置に四角形が表示されます。表示される四角形に順にタッチして、四角形が表示されなくなると、調整は完了です。

工場出荷時の設定に戻す

管理画面の管理タブを開き、[出荷時設定] ボタンにタッチすると、本機の設定が工場出荷時の設定に戻ります。

操作を開始する

■ 対象：全操作モード

1 画面の任意の場所にタッチする。



言語の選択画面が表示されます。



次の場合は、上記の画面が表示されません。

- ・イベントモード
- ・使用する言語を1種類しか設定していない場合

2 使用する言語にタッチする。

本機の使用にあたっての注意事項が表示されます。よく読んで [OK] ボタンにタッチしてください。

入力方法の選択画面が表示されます。



3 画像データの入力方法を選択する。

メモリーカード

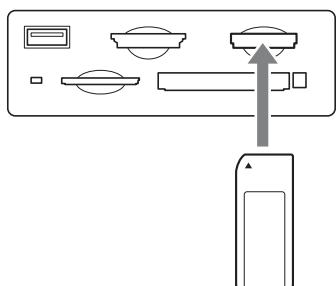
“メモリースティック”などのメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーから画像データを読み込む場合に選択します。

CD/DVD

CDまたはDVDから画像データを読み込む場合に選択します。

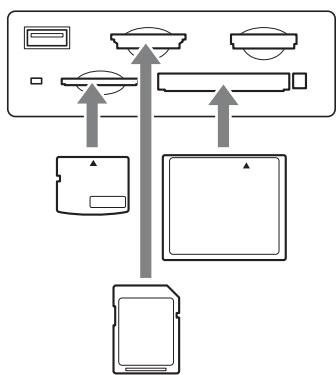
4 [メモリーカード] を選択した場合は、メモリーカードを本機前面のスロットに挿入する。[CD/DVD] を選択した場合は、ディスクを本機前面のトレーに入れる。

“メモリースティック”を挿入する



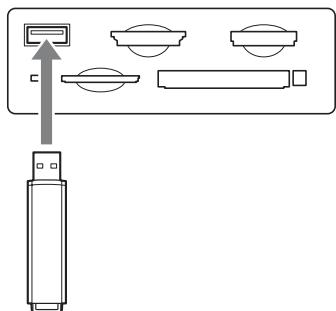
ラベルを上に向けて、▲の方向へ奥まで入れる。

SDカード／miniSDカード／マルチメディアカード／コンパクトフラッシュ／xD-ピクチャーカードを挿入する



ラベルを上に向けて、▲の方向へ奥まで入れる。

USBメモリーを挿入する



ご注意

- メモリーカードは、記録されているデータのバックアップを作成してから使用してください。
- 複数のメモリーカードを同時に使用することはできません。
- コンパクトフラッシュ型アダプターは使用しないでください。各カードに記録されている画像データが消えたり、本機が動作しなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”アダプターは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

- メモリーカードを挿入する前に、メモリーカードの向きを必ず確認してください。向きを間違えて押し込むと、故障の原因になります。
- メモリーカードを取り出すようメッセージが表示されるまでは、メモリーカードを取り出さないでください。記録されている画像データが消えたり、壊れることがあります。

5 メインメニューが表示されます。

ボタンに触れてメニューを選んでください



表示されるメニューは、設定されている操作モードによって異なります。これ以降の操作については、メニュー名の後に記載されているページをご覧ください。

フル機能モードの場合

- 選んでプリント (64 ページ)
- フレームつきプリント (65 ページ)
- 分割写真 (66 ページ)
- インデックスプリント (67 ページ)
- すべてプリント (68 ページ)

簡易モードの場合

- 選んでプリント (64 ページ)
- すべてプリント (68 ページ)

イベントモードの場合

- 選んでプリント (64 ページ)
- フレームつきプリント (65 ページ)
- 分割写真 (66 ページ)
- インデックスプリント (67 ページ)
- すべてプリント (68 ページ)

メモ

カットモードを設定している場合は、メニューを選択した後にプリントサイズを選択する画面が表示されます。カットモードについて詳しくは、「カットモードを設定する」 (43 ページ) をご覧ください。

画像を選んでプリントする

■ 対象：全操作モード

お好みの画像を選んでプリントします。

- 1 メインメニューで [選んでプリント] にタッチする。

画像選択画面が表示されます。



【全選択】 ボタン：すべての画像を選択します。

≡ ボタン：プリント仕上げの設定、およびファイル名の表示／非表示の設定をします。

サムネイル上のマークについて

1：プリント枚数

勾：編集済み画像

サムネイル画像の表示順序について

DCFに準拠した画像は、画像ファイルのファイル番号の小さい順に表示されます。

DCFに準拠していない画像（パソコンなどでユーザーが作成したファイルやユーザーが作成したフォルダ内の画像など）は、DCFに準拠した画像の後に、本機が読み込んだ順に表示されます。

本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）によって制定された統一規格「Design rule for Camera File System (DCF)」に対応しています。

ご注意

- 本機に未対応の画像や壊れている画像は、次のアイコンで表示されます。



- 縦横どちらかが480ピクセル以下の画像は、小さいサムネイル画像で表示されます。このような画像は、低解像度のため充分な画質でプリントできないことがあります。
- メモリーカード内の画像数とメモリーカードの種類によっては、読み込み速度が大きく低下し、正常に読み込めないことがあります。

- 2 プリントしたい画像にタッチする。

タッチすると、プリント枚数が1枚設定され、ボタンがポップアップで表示されます。



− **≡** **ボタン**：プリント枚数を指定します。

笔 **ボタン**：画像を編集します。次の編集ができます。

- 切抜き・回転

- 文字入力

- 画質調整

- 赤目補正

- セピア／モノクロ

詳しくは、「画像を編集する」（70ページ）をご覧ください。

簡易モードの場合、切抜き・回転だけが使用できます。

④ **ボタン**：プレビュー画面を表示します。プレビュー画面を閉じるには、プレビュー画面をクリックします。

× **ボタン**：ポップアップ表示を閉じます。ポップアップ表示を閉じると、**≡** アイコンが表示されます。

このアイコンをクリックすると、再びポップアップが表示されます。

ご注意

- 1つの画像は最大99枚までプリントできます。
- 1回のオーダーでのプリント枚数が、管理者の設定した上限枚数を超えている場合は、それ以上プリント枚数を増やすことができません。枚数を減らすか、複数回に分けてプリントしてください。
- カットモードおよび「奇数/偶数メッセージ」が設定されている場合、プリント枚数に端数が出るときにメッセージが表示されます。プリント枚数を確認してください。
- フレームを合成してプリントする場合、プリントしたい画像にタッチするとすぐにレイアウト設定画面(切抜き・回転)が表示されます。[OK]ボタンまたは[キャンセル]ボタンにタッチすると、画像選択画面に戻り、ポップアップボタンが表示された状態になります。
- レイアウト設定画面について詳しくは、「レイアウトを指定する(切抜き・回転)」(70ページ)をご覧ください。

3 画像の選択とプリント枚数の設定が完了したら、[OK]ボタンにタッチします。

イベントモードの場合は、印刷が始まります。
フル機能モード/簡易モードの場合は、オーダー確認画面が表示されます。
詳しくは、「オーダーを確認してプリントする」(68ページ)をご覧ください。

フレームを合成してプリントする

- 拡張コンパクトフラッシュが必要
- 対象: フル機能モード、イベントモード

画像にフレームや文字を合成してプリントできます。

1回のオーダーで選択できるフレームは1種類です。選択したフレームがプリントするすべての画像に合成されます。

1 メインメニューで「フレームつきプリント」にタッチする。

フレーム選択画面が表示されます。



2 使用したいフレームにタッチします。

■ ボタン: フレームを拡大表示します。

3 [OK]ボタンにタッチします。

画像選択画面が表示されます。

4 プリントする画像を選択する。

画像を選択すると、レイアウト設定画面が表示されます。画像の拡大・縮小や移動を行って、レイアウトを設定してください。

レイアウトの設定について詳しくは、「レイアウトを指定する(切抜き・回転)」(70ページ)をご覧ください。

5 レイアウトの設定画面で[OK]ボタンにタッチする。

画像選択画面に戻ります。

6 プリントする枚数を選択する。

操作について詳しくは、「画像を選んでプリントする」(64ページ)をご覧ください。

7 画像の選択とプリント枚数の設定が完了したら、[OK]ボタンにタッチします。

イベントモードの場合は、印刷が始まります。
フル機能モードの場合は、オーダー確認画面が表示されます。
詳しくは、「オーダーを確認してプリントする」(68ページ)をご覧ください。

分割写真をプリントする

■ 対象：フル機能モード、イベントモード

1枚のプリント紙に複数の画像を割り付けてプリントします。

また、証明写真のように、1枚の画像を定型サイズにして、並べてプリントすることもできます。

1 メインメニューで【分割写真】にタッチする。

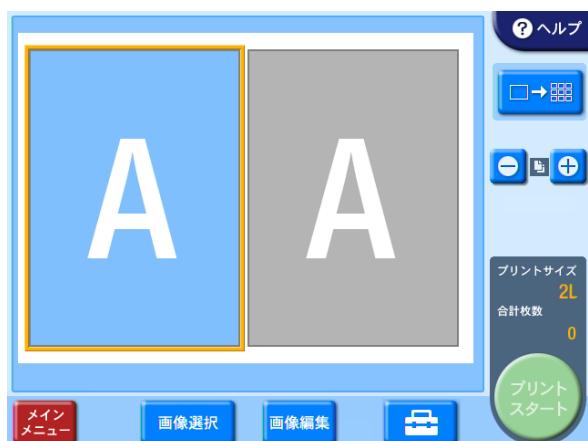
レイアウト選択画面が表示されます。

用途にあったサイズのレイアウトを選択してください。
レイアウト中の「A」、「B」は、割り付ける画像を表しています。同じ文字の箇所には、同じ写真が入ります。



2 お好みのレイアウトを選択し、[OK]ボタンにタッチする。

プレビュー画面が表示されます。



3 レイアウト枠にタッチする。

画像選択画面が表示されます。

4 割り付ける画像を選択し、「OK」ボタンにタッチする。

プレビュー画面に戻ります。

複数の画像を割り付けるレイアウトの場合は、手順3、4を繰り返します。



[+] [-] ボタン：プリント枚数を指定します。

【画像選択】ボタン：選択中のレイアウト枠の画像を選び直します。

【画像編集】ボタン：選択中の画像を編集します。次の編集ができます。

- 切抜き・回転
- 文字入力
- 画質調整
- 赤目補正
- セピア／モノクロ

詳しくは、「画像を編集する」（70ページ）をご覧ください。

【プリント仕上げ】ボタン：プリント仕上げを設定します。また、画像を自動補正することができます。

5 画像の選択とプリント枚数の設定が完了したら、[OK]ボタンにタッチします。

イベントモードの場合は、印刷が始まります。

フル機能モードの場合は、オーダー確認画面が表示されます。

詳しくは、「オーダーを確認してプリントする」（68ページ）をご覧ください。

インデックスプリントをする

■ 対象：フル機能モード、イベントモード

すべての画像を縮小して、並べてプリントします。

1枚のプリント紙にプリントできる画像数は、次のとおりです。

- L：30枚
- はがき（KG）：35枚
- 2L：56枚
- 15 × 20 cm：72枚

ご注意

インデックスプリントでは、最大ピクセル数（横8,000×縦6,000ピクセル）を超えるExif画像もプリントできます。インデックスプリント以外の機能では、本機未対応の画像として次のアイコンで表示され、プリントできません。



1 メインメニューで【インデックスプリント】にタッチする。

イベントモードの場合は、印刷が始まります。

フル機能モードの場合は、オーダー確認画面が表示されます。

詳しくは、「オーダーを確認してプリントする」（68ページ）をご覧ください。

すべての画像をプリントする

■ 対象：全操作モード

すべての画像を1枚ずつプリントします。

1 メインメニューで [すべてプリント] にタッチする。

オーダー確認画面が表示されます。

詳しくは、「オーダーを確認してプリントする」(68ページ)をご覧ください。

ご注意

画像の数が、管理者の設定したプリント上限枚数を超えている場合は、プリント枚数の上限まで画像が選択された状態で、画像選択画面が表示されます。そのままプリントするか、画像を選択し直してください。

オーダーを確認してプリントする

■ 対象：フル機能モード、簡易モード

フル機能モードおよび簡易モードでは、プリントを開始する前にオーダー確認画面が表示されます。

オーダー内容を確認して、ショップのスタッフがパスワードを入力しないと、プリントを行えません。

メモ

次のような設定に変更することもできます。詳しくは、「パスワードを設定する」(39ページ)をご覧ください。

- ・パスワードを入力せずにプリントする
- ・パスワードの代わりにバジェットコードを入力する
- ・画面でパスワードを入力する代わりに、パスワードを保存したメモリーカードを挿入することで、パスワードを入力する

オーダー確認画面



1 プリントの枚数や料金などを確認する。

プリントの仕上げを変更することができます。その場合は、お好みの仕上げのボタンにタッチします。

ご注意

ウォーターマークのファイルが拡張コンパクトフラッシュに保存されている場合は、プリントの仕上げで [マット] を選択すると、ウォーターマーク入りでプリントされます。

2 [プリントスタート] ボタンにタッチする。

パスワード（またはバジェットコード）を入力するためのテンキーが表示されます。



3 ショップのスタッフがパスワードを入力し、[OK] ボタンにタッチする。

画面上のテンキーを使って、4けたのパスワード（オーダー確認パスワードまたは管理者パスワード）を入力します。

メモ

- バジェットコードを使用する場合は、パスワードの代わりにバジェットコードを入力して、[OK] ボタンにタッチします。
- メモリーカードを使ってパスワードを入力する場合は、パスワード入力画面が表示された際に、メモリーカードを本機に挿入します。

正しいパスワードが入力されると、プリントが開始されます。

メモリーカードを抜くようメッセージが表示された場合は、メモリーカードをスロットから抜いてください。

ご注意

メモリーカードを抜くようメッセージが表示される前に、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードに記録されている画像が消えたり、壊れることができます。また、プリント中に拡張コンパクトフラッシュを抜き差しすると正常にプリントできないことがあります。

プリントを中止する

プリントを行っている途中（プログレスバーが表示されている状態）でプリントを中止するには、次の操作をします。

1 印刷中の画面（プログレスバー表示）で、画面の左上隅に2回続けてタッチする。



パスワード画面が表示されます。

2 画面上のテンキーを使って、管理者パスワードまたはオーダー確認パスワードを入力し、[OK] ボタンにタッチする。

画像を編集する

■ 対象：全操作モード（簡易モードは切抜き・回転のみ）

画像の選択、プレビュー中に  ボタンまたは [画像編集] ボタンにタッチすると、編集メニューが表示されます。簡易モードの場合、編集メニューを表示せずに、切抜き・回転の画面を表示します。



編集メニューでは、次の編集作業ができます。

- ・切抜き・回転
- ・文字入力
- ・画質調整
- ・セピア / モノクロ
- ・赤目補正

編集を取り消すには

編集済みの画像を元の状態に戻すには、元に戻したい画像を選択して編集メニューを表示させ、[元に戻す] ボタンにタッチします。

レイアウトを指定する（切抜き・回転）

画像の一部をトリミングしたり、回転させることで、プリントする画像の構図を変えることができます。

構図を調整するには、編集メニューで [切抜き・回転] にタッチします。



画像をトリミングするには

/ ボタン

画像の大きさを調整します。

矢印ボタン

トリミングする位置を調整します。

画像を回転させるには

ボタン

画像が時計回りに 90 度回転します。お好みの角度になるまでボタンにタッチします。

構図が決まったら、[OK] ボタンにタッチします。

テキストを入力する

テキストを入力して、画像の上に重ねてプリントすることができます。

- 1 編集メニューで「文字入力」にタッチする。

テキスト入力画面が表示されます。



- 2 [入力] タブの画面上のキーボードにタッチして、テキストを入力する。

英数字と記号が使用でき、1行64文字まで2行入力できます。

また、ほかのタブでテキストの設定ができます。テキストの設定は、次のレイアウト編集画面でも行えます。

[入力] タブ

[行変更] ボタンで行を移動します。入力した文字を取り消すときは、[削除] ボタンにタッチします。タッチし続けると、カーソルのある行をすべて削除します。

[フォント] タブ

表示するフォントを選択します。5種類のフォントから1つを選択できます。

[サイズ] タブ

[+] [-] ボタンで文字のサイズを設定します。設定できるサイズは4~72ポイントで、2ポイント単位で変更できます。

[色] タブ

文字色を選択します。16色の中から1つを選択できます。

- 3 テキストの入力が終わったら、[OK] ボタンをタッチする。

レイアウト編集画面が表示されます。



- 4 ボタンにタッチして、レイアウトを編集する。

矢印ボタン

テキストのプリント位置を上下左右に移動します。

○ボタン

テキストを時計回りに90度回転します。お好みの角度になるまでボタンにタッチしてください。

サイズ

[+] [-] ボタンで文字のサイズを設定します。設定できるサイズは4~72ポイントで、2ポイント単位で変更できます。

色

[◀] [▶] ボタンで文字色を選択します。16色の中から1つを選択できます。

[文字編集] ボタン

テキスト入力画面を表示します。レイアウト編集画面で設定した内容は保持されます。

フォント

[◀] [▶] ボタンでフォントを選択します。5種類のフォントから1つを選択できます。

- 5 [OK] ボタンにタッチする。

設定した内容が保存され、画像選択画面またはプレビュー画面に戻ります。

ご注意

- ・入力したテキストは編集中の画像にのみ適用されます。
- ・レイアウト編集画面に表示されるプレビューはあくまで目安ですので、実際のプリント結果とは若干異なることがあります。
- ・テキストのサイズやレイアウトなどを編集した結果、テキストが画像内に収まらなくなつた場合は、テキストが画像内に収まるようにテキストの位置およびフォントのサイズが自動的に調整されます。
- ・テキストを画像の端いっぱいにレイアウトすると、プリント時にテキストが切れる場合があります。

画質を調整する

画質を調整するには、編集メニューで、[画質調整] にタッチします。



次の項目を調整できます。

- ・明るさ
- ・色合い
- ・色の濃さ
- ・シャープネス

調整は、各項目の [◀] [▶] ボタンを使って行います。各項目とも ± 8段階の調整ができます。

調整が完了したら、[OK] ボタンにタッチします。

セピアやモノクロでプリントする

画像をセピア色、またはモノクロにしてプリントします。

セピア / モノクロの設定をするには、編集メニューで [セピア / モノクロ] にタッチします。



[セピア] ボタン

画像をセピア色に変えて、プリントします。

[モノクロ] ボタン

画像をモノクロでプリントします。

どちらかのボタンを選択したら、[OK] ボタンにタッチします。

赤目を補正する

ストロボ撮影のときに起こつた「赤目」を、目立たないように補正します。

ご注意

赤目補正後に切抜き・回転を行うと、赤目補正が無効になります。

赤目補正は、切抜き・回転のあとに行ってください。

1 編集メニューで [赤目補正] にタッチする。

次の画面が表示されます。画像の中央に補正用の枠線が表示されます。



- 2 矢印ボタンを使って枠線を移動し、瞳の位置に合わせる。
- 3 ボタンを使って、枠内に瞳が収まるようにする。

赤目補正は、片目ずつ行ってください。枠内に両目を入れると、正しく補正されないことがあります。



- 4 ボタンにタッチする。

補正処理が行われます。補正した結果は、画面下の小さい画像で確認してください。

補正を取り消すときは、 ボタンにタッチします。赤目の箇所それぞれに対して、手順2～4の操作を繰り返してください。

ご注意

画像によっては、充分に補正されないことがあります。

- 5 [OK] ボタンにタッチする。

元の画面に戻ります。

プリントの仕上げを選択する

■ 対象：全操作モード

プリントを光沢仕上げにするか、マット仕上げにするかを選択します。プリント時に画像を自動的に補正することができます。

また、日付を入れてプリントするか、ファイル名を画面に表示するかも設定できます。

これらの設定をするには、画像選択画面で ボタンにタッチします。

次の画面が表示されます。



プリントの仕上げ

プリントの仕上げを選択します。光沢とマットが選択できます。

ご注意

ウォーターマークのファイルが拡張コンパクトフラッシュに保存されている場合は、マットを選択すると、ウォーターマークを入れてプリントされます。

日付プリントのフォーマット

プリントした画像に撮影日をプリントしたいときに日付のフォーマットを選択します。日付をプリントしないときは、[オフ] を選択します。

- ・年・月・日（例：2010/6/1）
- ・日・月・年（例：1/6/2010）
- ・Month・日・年（例：Jun/1/10）
- ・月・日・年（例：6/1/2010）
- ・オフ（日付を印刷しない）

表示設定

ファイル名を画面に表示するかどうかを選択します。ファイル名は画面にのみ表示され、プリントはされません。

自動補正

画像を自動的に補正してプリントするかどうかを設定します。

ご注意

画像によっては適切な補正結果が得られない場合があります。また、画像編集で画質を調整したり、セピアやモノクロに設定した画像は、補正されません。

設定が完了したら、[OK] ボタンにタッチして、元の画面に戻ります。

Bluetooth 対応機器からプリントする

■ 拡張コンパクトフラッシュが必要

携帯電話などの Bluetooth 対応機器から画像を送信してプリントします。

1 画面の任意の場所にタッチする。



言語の選択画面が表示されます。

2 使用する言語にタッチする。



デバイスの選択画面が表示されます。

3 [Bluetooth] にタッチする。

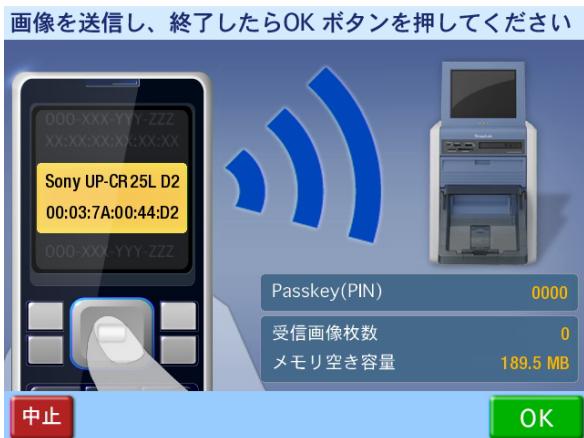


送信画面が表示されます。

4 Bluetooth 対応機器を操作して、画像を送信する。

画像の送信方法については、ご使用の Bluetooth 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 対応機器からプリンターを選択するときは、「SONY UP-CR25L ##」を選択してください。「##」には、本機の画面に表示された Bluetooth アドレスの右端の英数字が表示されます。下記の画面例では、「##」には「D2」が入ります。



送信された画像データを本機が受信します。受信した画像の数が本機の画面に表示されます。

ご使用の Bluetooth 対応機器がパスコード¹⁾ の入力を要求する場合は、「0000」を入力してください。

1) パスコードは、パスキーと PIN コードと呼ばれることもあります。

ご注意

プリンターではパスコードを変更できません。

5 受信が完了したら、[OK] ボタンにタッチする。

画像を複数枚転送するときは、画像をすべて転送してから [OK] ボタンにタッチしてください。

メインメニューが表示されます。



メインメニュー以降は、メモリーカードを使った場合の操作と同じです。64 ページ以降のプリント操作の説明をご覧ください。

DPOF の設定を使ってプリントする

DPOF に対応したデジタルカメラをお使いの場合は、あらかじめプリントする画像や枚数をデジタルカメラで指定できます。

デジタルカメラでプリントする画像や枚数を指定し、そのメモリーカードを本機のスロットに入れると、デジタルカメラでの指定が自動的に読み込まれます。そのため、本機では画像の選択や枚数の設定の操作が不要になり、すばやくプリントできます。

デジタルカメラで指定した枚数が、本機の1回のオーダーでプリントできる枚数の上限より多いときは、プリント枚数の上限まで画像が選択された状態で画像の一覧が表示されます。そのままプリントするか、画像を選択し直してプリントしてください。

この機能は、メインメニューで [選んでプリント] か [すべてプリント] を選択した場合に有効です。

DPOFについて

DPOF (Digital Print Order Format) は、デジタルカメラで撮影した画像を、自動的にプリントするための規格です。DPOF 対応のプリントカメラでは、プリントしたい画像や枚数などの情報をメモリーカードに記録でき、その情報をDPOF に対応したフォトプリンターで読み取ることで、手軽にプリントできます。

ご注意

設定できる情報や操作は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

プリンターを増設してプリントする

本機にUSBプリンターを接続すると、本機からデータを送信して増設プリンターでプリントすることができます。

増設プリンターの接続により、次のようなサービスができます。

- プリントできる用紙サイズを増やす

本機にセットした用紙と異なるサイズの用紙をセットすると、プリントオーダー時に選択できる用紙サイズが増えます。

- 用紙切れによる不稼動を減らす

本機と増設プリンターに同じサイズの用紙をセットすると、プリント中に用紙切れになんでも、自動的にもう一方のプリンターに切り替えてプリントを続けます。この機能では、用紙の残量が少ないプリンターから優先的にプリントします。

ご注意

増設できるプリンターの数は1台です。

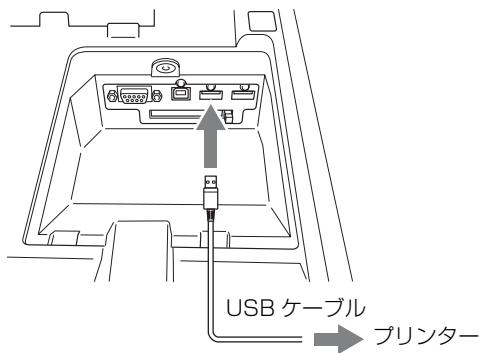
対応するプリンターや詳細情報については、UP-CR25Lのサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

本機に増設用のプリンターを接続する

本機にプリンターを増設するには、USBケーブルを使って本機とプリンターを接続します。USBケーブルは、本機上部の拡張端子部にあるUSB端子（ホスト）に接続します。接続については、プリンターの取扱説明書も併せてご覧ください。

ご注意

本機と増設プリンターを接続する前に、本機の電源が切れているか、スタートガイド画面が表示されていることを確認してください。その他の操作中に接続した場合は正しく認識されない場合があります。



本機とプリンターを接続して電源を入れた際に、不明な機器またはバージョンアップが必要と画面に表示された場合には、プリンターが本機に対応しているか確認してください。対応するプリンターやバージョンアップの詳細情報については UP-CR25L のサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。

本機に増設されているプリンターを確認する

本機に接続されたプリンターの情報はインクリボンの残量確認画面で確認できます。UP-CR25L の情報の下に、増設されているプリンターの名称、セットされているプリント紙のサイズ、およびインクリボンの残量が表示されます。インクリボンの残量確認画面の表示方法については、「インクリボンの残量を確認する」(27 ページ) をご覧ください。

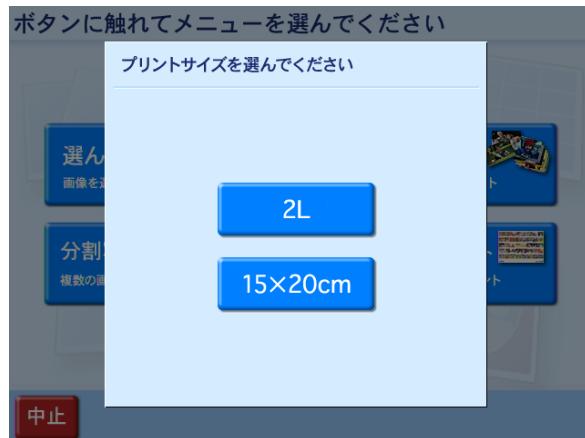


増設プリンターでプリントする

増設プリンターに本機と異なるサイズの用紙がセットされている場合、メインメニューでメニューを選択した後にプリントサイズを選択する画面が表示されます。本機の用紙でプリントできるサイズと、増設プリンターの用紙でプリントできるサイズが併せて表示されます。

ご注意

増設プリンターと本機に同じサイズの用紙がセットされている場合には表示されません。



プリントサイズの選択画面で、増設プリンターにセットした用紙のサイズを選択すると、増設プリンターでプリントされます。

増設プリンターと本機に同じサイズの用紙がセットされている場合は、用紙の残量が少ないプリンターでプリントされます。

増設プリンターでのプリント中は下記の画面が表示されます。



増設プリンターの画質を調整する

増設プリンターの画質調整を本機から行うことができます。詳しくは、「本機に増設したプリンターの画質を設定する」(59 ページ) をご覧ください。

パソコンからプリントする

付属の USB ケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、パソコンから送ったデータを本機のプリンターでプリントできます。

USB ケーブルを接続しているときは、本機の画面に「パソコン接続モード」と表示され、タッチパネルでの操作はできません。

パソコンにプリンタードライバーをインストールする

パソコンから本機を操作する場合は、パソコンと本機を接続する前に、付属のプリンタードライバーをパソコンにインストールする必要があります。

インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に収録されているインストールガイド、および「Readme」をお読みください。

ご注意

- プリンタードライバーの最新情報については、UP-CR25L のサポートページ (<http://www.sony.co.jp/snaplab>) をご覧ください。
- 付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応しておりません。

パソコン接続の設定をする

パソコンからの操作を受け付けるかどうかを設定します。

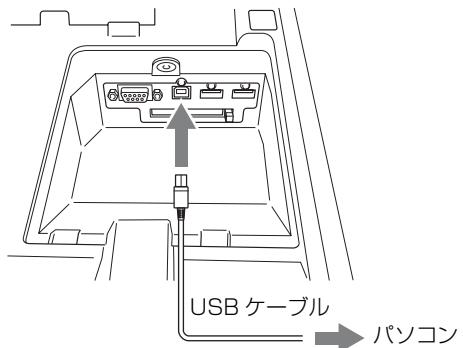
パソコンからの操作を受け付ける場合は、管理画面のシステムタブで「パソコン接続」の「オン」ボタンにタッチします。



「オフ」を設定した場合は、USB ケーブルでパソコンと接続しても、パソコンから本機を操作できません。

パソコンと接続する

パソコンからプリントする場合は、付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。USB ケーブルは、本機上部の拡張端子部にある USB 端子（デバイス）に接続します。接続については、パソコンの取扱説明書も併せてご覧ください。



ご注意

- 本機とパソコンを接続する前に、本機の電源が切れているか、スタートガイド画面が表示されていることを確認してください。その他の操作中に接続した場合は正しく認識されない場合があります。
- USB ハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。

付録

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。傾けたり、横にしたまま使用しないでください。故障の原因になります。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 不安定なところ
 - ほこりの多いところ
 - 極端に寒いところや暑いところ
 - 振動の多いところ
 - 湿気の多いところ
 - 直射日光の当たるところ
- 本体の通気孔をふさがないようにご注意ください。故障の原因となります。

長い間ご使用にならないときは

- 電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- プリントパックを使用途中で保存する場合は、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封し、使用してください。

輸送するときは

本機を輸送する際は、付属品やメモリーカード、インクリボン、プリント紙を取りはずし、スクラップボックスにたまっている紙片を取り除いてください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。取りはずしたインクリボンとプリント紙は製品が入っていた袋に入れて保存してください。

結露について

- 湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴が付くことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。
- 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、インクリボンやプリント紙に水滴が付くことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画像にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

メモリーカードについて

“メモリースティック”について

本機は、“メモリースティック”に対応しています。“メモリースティック”に記録されている画像データは、バックアップを作成してから使用することをお勧めします。

ご注意

- 本機の使用中に、万一“メモリースティック”やデータが壊れても、ソニーでは責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機では、32 GBまでの“メモリースティック”メディアで動作確認を行っています。ただし、すべての“メモリースティック”メディアでの動作を保証するものではありません。
- 記録・再生できるファイルの容量は“メモリースティック”で採用しているファイルシステムの仕様上、1ファイルにつき4 GB未満です。
- あなたが録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“メモリースティック”メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて大容量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応製品間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”には、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“マジックゲートメモリースティック”と、搭載していない一般の“メモリースティック”的2種類があります。

本機では“マジックゲートメモリースティック”と一般的の“メモリースティック”的どちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で表示するデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

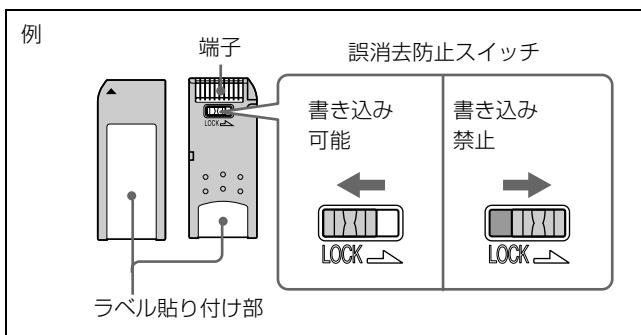
また、本機では“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO”もご使用いただけます。

マジックゲートとは？

“MagicGate™”（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。

“メモリースティック”的データを書き込み禁止にするには

大切なデータを誤って消してしまうことのないように、“メモリースティック”には誤消去防止スイッチがあります。スイッチを左にスライドさせると、データの書き込み、消去、“メモリースティック”的初期化ができます。スイッチを右にスライドさせると、データの読み出しはできますが、書き込みはできません。本機の“メモリースティック”用スロットに入れて画像を読み込むときは、書き込み禁止にしておくことをお勧めします。



ご注意

誤消去防止スイッチの位置や形状は、お使いの“メモリースティック”によって異なることがあります。

“メモリースティック”的フォーマット（初期化）について

フォーマット（初期化）は必ず“メモリースティック”対応製品で行ってください。Windowsなどで初期化すると、本機で扱えないメディアとなる場合があります。

“メモリースティック”使用上のご注意

- “メモリースティック”をお使いになる場合は、スロットに直接セットしてください。市販のコンパクトフラッシュ型アダプターに、“メモリースティック”をセットして使用しないでください。記録されている画像データが消えたり壊れることがあります。
- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
 - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

- ・強い衝撃を与える、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・分解したり、改造したりしないでください。
- ・水にぬらさないでください。
- ・以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のある場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ・端子部には手や金属などで触れないでください。
- ・“メモリースティック”のラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ・ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- ・持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- ・本機には、スタンダード／デュオサイズ対応スロットが搭載されています。このスロット搭載の機器では、“メモリースティック”メディアのサイズを自動的に判断する機構により、メモリースティックデュオ アダプターなしで、標準サイズの“メモリースティック”メディア、小型の“メモリースティック デュオ”メディアのどちらでもご使用いただけます。
 - 複数のメディアを挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
 - “メモリースティック デュオ”メディアは、小さいお子様の手の届くところに置かないようしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

“メモリースティック デュオ” 使用上のご注意

- ・“メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- ・一部の“メモリースティック デュオ”には誤消去防止スイッチが付いていません。誤消去防止スイッチが付いていない“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり、消去しないようご注意ください。
- ・メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。

“メモリースティック”以外のメモリーカードについて

本機は、「コンパクトフラッシュ」、「SD カード」、「マルチメディアカード」、「xD-ピクチャーカード」に対応しています。各メモリーカードに記録されている画像データは、バックアップを作成してから使用することをお勧めします。

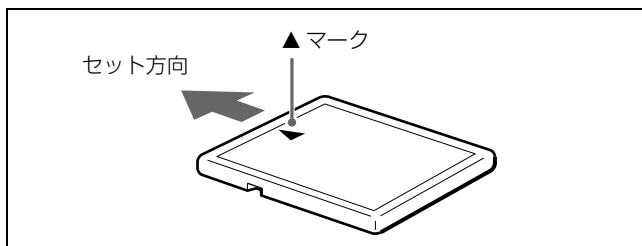
ご注意

本機の使用中に、万一メモリーカードやデータが壊れても、ソニーでは責任を負いかねますのでご了承ください。

コンパクトフラッシュについて

カードをスロットにセットできる方向は決まっています。うまくセットできない場合は、無理な力をかけて押し込まないように、セッティング方向を確認してください。

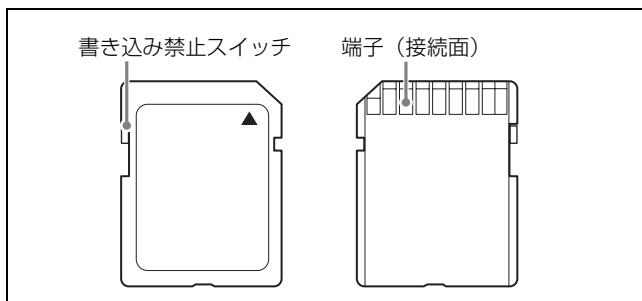
図のように、▲マークをセッティング方向に合わせてセッティングしてください。



詳しくは、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

SD カードについて

SD カードの各部の名称は、次のとおりです。



詳しくは、下記の SD アソシエーションホームページまたはお買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
<http://www.sdcard-jp.com/>

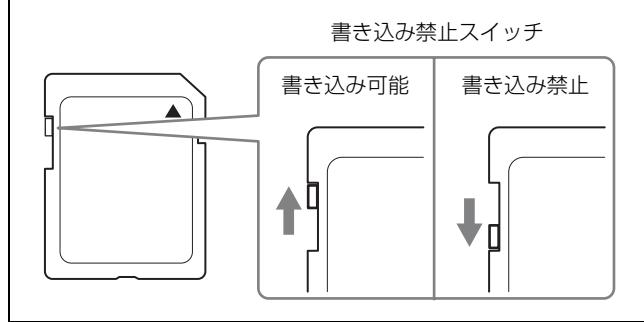
ご注意

本機は、SDXC には対応していません。

SD カードのデータを書き込み禁止にするには

大切なデータを誤って消してしまうことのないように、SD カードへのデータの書き込みを禁止し、読み出し専用のカードにすることができます。

書き込み禁止スイッチを、図の位置にセットしてください。

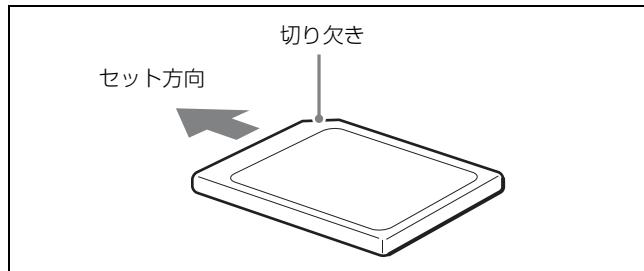


書き込み禁止中は、デジタルカメラで撮影できなくなります。

マルチメディアカードについて

カードをスロットにセットできる方向は決まっています。うまくセットできない場合は、無理な力をかけて押し込まないように、セット方向を確認してください。

図のように、切り欠きを右側奥に合わせてセットしてください。

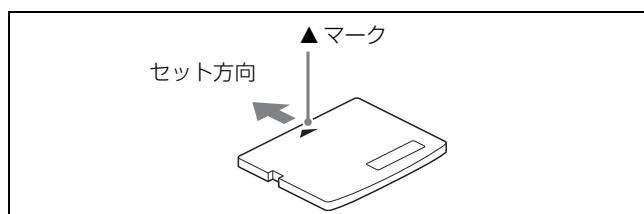


詳しくは、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

xD-ピクチャーカードについて

カードをスロットにセットできる方向は決まっています。うまくセットできない場合は、無理な力をかけて押し込まないように、セット方向を確認してください。

図のように、▲マークをセット方向に合わせてセットしてください。



詳しくは、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

各カードの使用上のご注意

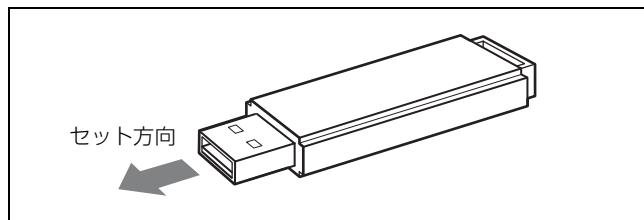
ご注意

ここでは、“メモリースティック”以外のメモリーカードの注意事項を説明しています。“メモリースティック”については、80 ページをご覧ください。

- 各カードをお使いになる前に、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をよくお読みください。
- お買い上げになった各カードは、お使いになる前にデジタルカメラで初期化してください。パソコンなど、デジタルカメラ以外の機器で初期化した場合、本機で画像データを読み込めないときがあります。
- 指定以外のカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- カードは湿気に弱いため、湿度の高い場所ではお使いにならないようお勧めいたします。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
 - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所
- コンパクトフラッシュや SD カード、マルチメディアカードの端子部に手や金属で触れないでください。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- SD カードやマルチメディアカードをお使いになる場合は、対応する各スロットに直接セットしてください。市販のコンパクトフラッシュ型アダプターにこれらのカードを装着して使用しないでください。記録されている画像データが消えたり壊れことがあります。
- 各カードを本機にセットする前に、対応するスロットおよびカードのセット方向を必ず確認してください。カードを無理にセットすると、本機の故障の原因となります。
- データの読み込み中、書き込み中にカードを取りはずしたり、電源を切らないでください。記録されているデータが消えたり壊れたりすることがあります。

USB メモリーについて

USB メモリーをスロットにセットするときは、コネクターの上下を確認して差し込んでください。



詳しくは、お買い上げの USB メモリーに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- セキュリティ機能を持つUSBメモリーは使用できません。
- すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

CD/DVD について

読み込み可能なファイルシステムフォーマットは次のとおりです。

- UDF
- ISO9660
- Joliet

Microsoft Windows XP、Windows Vista および Windows 7 (UDF バージョン 2.01、マスター形式) で作成したディスクの読み込みを検証済です。

すべてのライティングソフトで書き込まれたディスクの読み込みを保証するものではありません。

CD/DVD ディスクの取り扱いについて

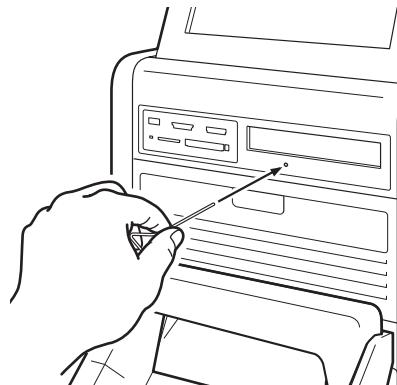
- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。
- ディスクに文字を書いたり、紙などを貼ったりしないでください。
- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

ディスクが取り出せない場合

イジェクトボタンを押してもトレイが出てこない場合は、次の方法でディスクを取り出します。

1 本機の電源をオフにする。

- 2 硬い金属製のピン（大型のペーパークリップなど）を緊急イジェクトホールに押し込む。
(使用するピンは直径 1.7 mm 未満のものをお使いください。)



トレイが徐々に出てきます。

- 3 トレイの端を指先で水平に引き出し、ディスクを取り出す。

CD/DVD のクリーニング

柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジン、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めますので使わないでください。

CD/DVD ドライブのお手入れについて

ご注意

市販のレンズクリーナーは、ドライブの故障の原因となりますので使用しないでください。

故障かなと思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因／処置
プリント紙とインクリボンを取り付け、リボンドアおよびペーパードアを閉めたとき、自動給紙されない。	プリンターの電源がオフになっていませんか。 →オンにしてください。 プリント紙をプリンターに左右逆に入れていませんか。 →プリント紙をプリンターに正しく入れ直してください。(21ページ)
インクリボンが装着できない。	インクリボンのスプールの向きを間違えて装着していませんか。 →インクリボンのスプールをリボントレイの向きに合わせて正しく装着してください。(24ページ)
プリント紙が取り付けられない。	ペーパーアダプターが取り付けられている状態で、紙幅152mm(6インチ)のプリントパック(2UPC-R254/R256/C560シリーズ)を取り付けようとしていませんか。 →アダプターを取りはずしてから、プリント紙を入れ直してください。(23ページ)
プリント紙を取り付けたのにプリント紙がないというメッセージが表示される。	プリント紙が正しく装着されていますか。 →正しく装着してください。(21ページ)
インクリボンを取り付けたのに、インクリボンがないというメッセージが表示される。	インクリボンが正しく装着されていますか。 →正しく装着してください。(24ページ)
プリント紙がないというメッセージが表示されているのにプリント紙が余っている。	トラブルではありません。プリント紙は余分に巻いてあります。 →余ったプリント紙は取り出し、新しいインクリボンとプリント紙を装着してください。(28ページ)
プリントのはじに余白ができる。	ペーパーアダプターを取り付けずに、紙幅127mm(5インチ)のプリントパック(2UPC-R253/R255シリーズ)を使用していますか。 →ペーパーアダプターを取り付けてください。(23ページ)

症状	原因／処置
プリント面に白いひっかききずが入る。	サーマルヘッドにゴミが付着している場合があります。 →プリンター内部のクリーニングをしてください。(54ページ)
電源が入らない。	電源コードは接続されていますか。 →電源コードを接続してください。(18ページ) POWERスイッチを正しく押していない場合があります。 →POWERスイッチをしっかりと押してください。(19ページ)
画面が見えない、見えにくい。	操作部のディスプレイの角度によっては、画面が見えにくい場合があります。 →ディスプレイの角度を変えることができます。見やすい角度に調節してお使いください。(16ページ)
画像データが読み込めない。	画像が記録されていないメモリーカードをセットしている場合があります。 →画像が記録されているメモリーカードをセットしてください。本機で読み込めないフォーマットで、画像が記録されていませんか。 →本機で読み込めるフォーマットの画像をご用意ください。(13ページ) メモリーカードが奥まで押し込まれていない可能性があります。 →メモリーカードを奥まで押し込んでください。(63ページ) メモリーカードが正しい方向にセットされていない可能性があります。 →操作画面に表示されている方向にメモリーカードをセットしてください。

ご使用になれるインクリボンとプリント紙について

インクリボンとプリント紙は、必ず同じ箱に入っているものをペアでお使いください。

ラミネートカラープリントパック 2UPC-R253 シリーズ

カラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボン 2巻

L サイズ用プリント紙 2巻

クリーニングシート 2枚

ラミネートカラープリントパック 2UPC-R254 シリーズ

カラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボン 2巻

はがきサイズ (KG) 用プリント紙 2巻

クリーニングシート 2枚

ラミネートカラープリントパック 2UPC-R255 シリーズ

カラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボン 2巻

2L サイズ用プリント紙 2巻

クリーニングシート 2枚

ラミネートカラープリントパック 2UPC-R256 シリーズ

ラミネートカラープリントパック 2UPC-C560 シリーズ

カラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボン 2巻

15 × 20 cm サイズ用プリント紙 2巻

クリーニングシート 2枚

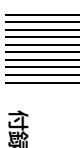
印画可能枚数について

印画可能枚数は、プリントパックにより異なります。また、プリントパックにはインクリボンが2巻、プリント紙が2巻入っています。プリントリボン1巻とプリント紙1巻のセットで印画可能な枚数は以下のとおりです。

プリント パック	2UPC-R253 シリーズ	2UPC-R254 シリーズ	2UPC-R255 シリーズ	2UPC-R256/ 2UPC-C560 シリーズ
印画枚数	770 枚	700 枚	400 枚	350 枚
印画サイズ ズ単位： mm	89 × 127	102 × 152	127 × 178	152 × 203

ご注意

- インクリボンやプリント紙を途中で交換した場合、上記の印画可能枚数は、保証の限りではありません。
- 本機では、2UPC-R203/R204/R205/R206/C26 シリーズのプリントパックは使用できません。



仕様

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電流	最大 6.3 A
動作温度	10 ℃ ~ 35 ℃
動作湿度	20% ~ 80% (結露なきこと)
最大外形寸法	約 338 × 442 × 454 mm (幅／高さ／奥行き) (最大突起含まず)
質量	約 23 kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型
プリント解像度	330dpi
プリント階調	YMC 各色 8 ビット (256 階調) 处理
プリントサイズ	2UPC-R253 シリーズ： 89 × 127 mm ± 2 mm (L サイズ) 2UPC-R254 シリーズ： 102 × 152 mm ± 2 mm (KG (はがき) サイズ) 49 × 152 mm ± 2 mm (5 × 15 cm サイズ) ¹⁾ 2UPC-R255 シリーズ： 127 × 178 mm ± 2 mm (2L サイズ) 127 × 127 mm ± 2 mm (13 × 13 cm サイズ) ¹⁾ 89 × 127 mm ± 2 mm (L サイズ) 2UPC-R256/C560 シリーズ： 152 × 203 mm ± 2 mm (15 × 20 cm サイズ) 152 × 178 mm ± 2 mm (15 × 18 cm サイズ) ¹⁾ 102 × 152 mm ± 2 mm (KG (はがき) サイズ)

1) プリントドライバー使用時のみ印刷できます。

プリント画素数 2UPC-R253 シリーズ：	1,210 × 1,728 ドット (L サイズ)
2UPC-R254 シリーズ：	1,382 × 2,048 ドット (KG (はがき) サイズ)
	691 × 2,048 ドット (5 × 15 cm サイズ) ¹⁾
2UPC-R255 シリーズ：	1,728 × 2,380 ドット (2L サイズ) 1,728 × 1,728 ドット (13 × 13 cm サイズ) ¹⁾ 1,210 × 1,728 ドット (L サイズ)

2UPC-R256/C560 シリーズ：
2,048 × 2,724 ドット (15 × 20 cm サイズ)
2,048 × 2,380 ドット (15 × 18 cm サイズ)¹⁾
1,382 × 2,048 ドット (KG (はがき) サイズ)
(ただし、左右上下各およそ 2.5 mm はプリントされません。)

1) プリントドライバー使用時のみ印刷できます。

プリント時間 (光沢)

2UPC-R253 シリーズ：
約 8 秒 (L サイズ)
2UPC-R254 シリーズ：
約 8 秒 (KG (はがき) サイズ)
2UPC-R255 シリーズ：
約 14 秒 (2L サイズ)
2UPC-R256/C560 シリーズ：
約 17 秒 (15 × 20 cm サイズ)
(ご使用になる条件によっては、プリント時間が異なる場合があります。)

プリント時間 (マット)

2UPC-R253 シリーズ：
約 14 秒 (L サイズ)
2UPC-R254 シリーズ：
約 14 秒 (KG (はがき) サイズ)
2UPC-R255 シリーズ：
約 23 秒 (2L サイズ)
2UPC-R256/C560 シリーズ：
約 27 秒 (15 × 20 cm サイズ)
(ご使用になる条件によっては、プリント時間が異なる場合があります。)

入力端子 AC IN (電源入力用)
制御端子 RS-232C (外部制御用、D-Sub 9 ピン) (1)
USB ポート (デバイス)

Hi-Speed USB (USB2.0 準拠)
USB ポート (ホスト)
USB メモリー用 (3) (フロント 1、リア 2)

メモリーカードスロット
"メモリースティック" 用 (1)
SD カード用 (1)
(SDXC には対応していません)
コンパクトフラッシュ用 (2)
(1 か所は拡張用スロットです)
xD-ピクチャーカード用 (1)

CD/DVD ドライブ¹⁾
CD-R/RW、DVD-R/RW 用

1) DVD+R(DL)/RW および DVD-RAM には対応していません。
CD および DVD への書き込みには対応していません。
Windows XP、Windows Vista および Windows 7 (UDF バージョン 2.01、マスター形式) で作成したディスクの読み込みを検証済です。
すべてのライティングソフトで書き込まれたディスクの読み込みを保証するものではありません。

対応画像フォーマット

JPEG: JFIF 4:4:4, 4:2:2, 4:2:0 (ベースライ
ン JPEG)
Exif 2.2.1 準拠
DCF 2.0 準拠
(プログレッシブ JPEG およびグレース
ケール (8bit) JPEG には対応していま
せん)
TIFF: Exif 2.2.1 準拠 (RGB 非圧縮)
BMP: 24 ビット Windows 形式
(各フォーマットのバージョンによって
は、対応していないことがあります)
最大ピクセル数 JPEG: 横 8,000 × 縦 6,000 ピクセルまたは
縦 8,000 × 横 6,000 ピクセル
TIFF: 横 8,000 × 縦 6,000 ピクセルまたは
縦 8,000 × 横 6,000 ピクセル
BMP: 横 8,000 × 縦 6,000 ピクセルまたは
縦 8,000 × 横 6,000 ピクセル

最大ファイル数 各メディア 9,999 ファイル

液晶ディスプレイ

10.4 インチ TFT カラー液晶タッチスク
リーンディスプレイ
640 × 480 ドット、RGB
排紙トレイ (1)
排紙トレイアダプター (1)
排紙カバー (1)
スクラップボックス (1)
クリーニングリボン (1)
リボントレイ (1)
ペーパーコア (1)
ペーパーアダプター (青) (1)
ペーパーアダプター (ピンク) (1)
電源コード (1)

USB ケーブル (1-790-081-71 (Sony)) (1)
3 極 → 2 極変換プラグ (1)

CD-ROM (1)

ソフトウェアライセンス契約書 (1)

ご使用になる前に (1)

保証書 (1)

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。

他の機器には使用できません。

別売り品

使用インクリボン／プリント紙

ラミネートカラープリントパック
2UPC-R253 シリーズ
2UPC-R254 シリーズ
2UPC-R255 シリーズ
2UPC-R256 シリーズ¹⁾
2UPC-C560 シリーズ¹⁾

Bluetooth USB アダプター

DPPA-BT1¹⁾ ²⁾

1) ご使用の国・地域によっては、販売していません。お買い上
げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

2) 本機の Bluetooth 通信機能は DPPA-BT1 との組み合わせでのみ
使用することができます。

他の Bluetooth USB アダプターはご使用になれません。

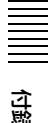
本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家
庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがありま
す。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求
されることがあります。

VCCI-A

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。
本機や付属のソフトウェア、記録メディア、外部スト
レージなどを使用中、万一これらの不具合により正常
に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの
補償については、ご容赦ください。
- 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中お
よび保証期間経過後にかかるらず、補償はいたしかね
ますのでご了承ください。
- 本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上非常に精密
度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が
現れたり (画素欠け)、常時点灯している輝点 (赤、
青、緑など) や減点がある場合があります。また、液
晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生
じることもあります。これらの現象は故障ではありません
ので、ご了承の上本機をお使いください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更するこ
とがありますが、ご了承ください。



保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ソニーサービス窓口にご相談なさるときは、次のことをお知らせください

- 型名：UP-CR25L
- 故障の内容：できるだけ詳しく
- 購入年月日

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>